

2019 年度
小樽商科大学

『公開授業』のご案内



軸足は地域に。
視点は世界に。

商大は
グローバル
大学。

目次

I ご挨拶	3
II 公開授業（通常授業公開講座）のご紹介	
1 公開授業について	4
2 オリエンテーション（ガイダンス）について	6
3 公開授業の受講手続きについて	8
4 授業内容について	10
2019 年度前期小樽商科大学公開授業申込書	54
2019 年度行事予定	55
公開授業の受講にあたっての注意とお願い	56
学内案内図	57

I ご挨拶

小樽商科大学は、前身の小樽高等商業学校時代を含めると、107年の歴史を重ねて参りました。全国でも最小クラスの国立大学である本学が、このような長い伝統を築き上げることができたのも、小樽を始めとする地域の方々の様々な支援があったお蔭と、厚く御礼申し上げます。現在本学は、「No.1 グローカル大学宣言」のもと、グローバル教育と並びローカル関連科目、即ち地域を学び地域について考える科目の充実を図っております。その意味におきましても、蓄積してきた知的ノウハウを地域に還元することを、本学は教育・研究と並ぶ重要な使命であると考え、本年度も公開授業・公開講座を開講することといたしました。

公開授業は、17:45から20:55の間で行われる夜間主コースの通常授業を学外の方にも聴講可能にする制度です。夜間主コースの前身は本学短期大学部であり、短期大学部は戦後、勤労者向け高等教育機会を拡充させたいという地元の強い要請から設置された経緯があります。その意味からも、夜間主コース科目を公開授業とすることは、コース本来の趣旨に合致することでしょう。

一人でも多くの方々が、本学公開授業（通常授業公開講座）にご参加いただき、学ぶ喜びを再び体験していただくことを、心より願っております。

教育担当副学長 鈴木 将史

Ⅱ 公開授業（通常授業公開講座）のご紹介

1 公開授業について

本学では、一般市民の方々が学生とともに受講できるよう夜間主コースの正規授業の一部を開放しています。この機会に、キャンパスライフを体験しながら、本学の授業を皆様のブラッシュアップ、スキルアップにお役立てください。

※「小樽商科大学通常授業公開講座」…通称「公開授業」といいます。試験、レポートの提出等は行わず、授業視聴のみの参加となります。単位、資格等は取得することができませんのご注意ください。

※開講科目につきましては、予告なく変更になる場合があります。

■2019年度通常授業公開講座一覧

前期科目（4月～7月末開講）

曜日	時間	科目区分	科目名	担当教員	内容	募集人数
月	6 17:45~19:15	共通科目	人文科学特別講義 (文化論)	谷川 靖郎	p.10	若干名
		経済学科科目	経済学入門	中村 健一	p.10	若干名
		企業法学科科目	商法Ⅱ	多木 誠一郎	p.11	若干名
7	19:25~20:55	企業法学科科目	憲法Ⅰ	小倉 一志	p.12	制限なし
火	6 17:45~19:15	外国語科目	ドイツ語Ⅰ-1	副島 美由紀	p.12	若干名
		外国語科目	フランス語Ⅰ-1	尾形 弘人	p.13	若干名
		外国語科目	中国語Ⅰ-1	章 天明	p.14	若干名
		商学科科目	現代企業管理論Ⅱ	林 松国	p.15	制限なし
		社会情報学科科目	オペレーションズ・ リサーチ	原口 和也	p.15	制限なし
	7	19:25~20:55	共通科目	基礎数学	赤塚 広隆	p.16
		商学科科目	金融システム論Ⅱ	中浜 隆	p.16	制限なし
		企業法学科科目	民法Ⅰ	橋本 伸	p.17	制限なし
水	6 17:45~19:15	共通科目	日本文学Ⅱ※1	中村 史	p.17	若干名
		企業法学科科目	刑法	竹川 俊也	p.18	若干名
7	19:25~20:55	商学科科目	市場システム論Ⅰ	高宮城 朝則	p.19	若干名
木	6 17:45~19:15	共通科目	生活と健康	花輪 啓一	p.20	若干名
		共通科目	社会科学特別講義 (科学方法論)	佐々木 邦子	p.21	3名
		商学科科目	経営管理論	加賀田 和弘	p.22	若干名
		企業法学科科目	法学	齊藤 健一郎 外	p.23	若干名
		社会情報学科科目	プロジェクト マネジメント基礎	平沢 尚毅 深田 秀実	p.24	制限なし
	7 19:25~20:55	外国語科目	ドイツ語Ⅰ-1	杉浦 康則	p.12	若干名
		外国語科目	フランス語Ⅰ-1	村山 紀明	p.13	若干名
		外国語科目	中国語Ⅰ-1	加藤 眞司	p.14	若干名
		経済学科科目	公共政策	天野 大輔	p.25	若干名
		社会情報学科科目	計画数学	小泉 大城	p.26	制限なし
金	6 17:45~19:15	社会情報学科科目	情報処理基礎	佐藤 剛	p.26	制限なし
	7 19:25~20:55	共通科目	歴史学Ⅰ※2	醍醐 龍馬	p.27	若干名

※一部、土曜日・祝日に授業が行われます。P.55の行事予定を参考にしてください。

※1…授業中の課題はやっていただくのが望ましい。

※2…高校程度の日本近現代史の知識を有していることが望ましい。

夏学期科目（期間中の月曜日から土曜日までの6、7講目で開講）

期 間	科目区分	科目名	担当教員	内容	募集人数
8月16日～8月23日 ※夜1	共通科目	政治学Ⅰ	大場 崇代	p.28	3名
	商学科科目	国際市場論	菅原 秀幸	p.28	若干名
8月24日～8月31日 ※夜2A	企業法科目	経 済 法	姜 連甲	p.29	制限なし
8月24日～8月31日 ※夜2B	商学科科目	現代企業管理論Ⅰ	古澤 和行	p.30	若干名
9月2日～9月9日 ※夜3	共通科目	言 語 学	山田 久就	p.31	若干名

※夜1…8月17日（土）は、4～6講目で開講

※夜2A…8月31日（土）は、4～6講目のみ開講

※夜2B…8月31日（土）は、2～4講目のみ開講

※夜3…9月7日（土）は、4～6講目で開講

後期科目（9月末～翌年1月末開講）

曜日	時 間	科目区分	科目名	担当教員	内容	募集人数
月	6 17:45～19:15	共通科目	心理学Ⅱ	杉山 成	p.31	10名
			社会思想史Ⅱ	西永 亮	p.32	若干名
		社会情報学科科目	情報と職業※1	中山 由之	p.33	若干名
	7 19:25～20:55	商学科科目	管理会計概論	塚 昌彦	p.34	若干名
火	6 17:45～19:15	外国語科目	ドイツ語Ⅰ-2	副島 美由紀	p.34	若干名
		外国語科目	フランス語Ⅰ-2	尾形 弘人	p.35	若干名
		外国語科目	中国語Ⅰ-2	章 天明	p.36	若干名
		企業法学科科目	知的財産法	才原 慶道	p.37	制限なし
	社会情報学科科目	計 画 科 学	中村 隆志	p.38	制限なし	
	7 19:25～20:55	共通科目	数 学 Ⅱ	後藤 良彰	p.38	若干名
		企業法学科科目	商 法 Ⅰ	高橋 周史	p.39	制限なし
水	6 17:45～19:15	共通科目	化 学 Ⅱ	沼田 ゆかり	p.40	若干名
		専門共通科目	言語文化論	尾形弘人、石井登、高橋優季、高野寿子、鈴木将史	p.41	若干名
		商学科科目	経営学原理	加藤 敬太	p.42	若干名
	7 19:25～20:55	商学科科目	会計学原理	坂 柳 明	p.43	若干名
木	6 17:45～19:15	共通科目	哲 学	久保田 顕二	p.44	若干名
		商学科科目	市場システム論Ⅱ	鈴木 和宏	p.45	若干名
		商学科科目	簿記原理（A）	坂 柳 明	p.46	若干名
		商学科科目	簿記原理（B）	市原 啓善	p.47	若干名
		社会情報学科科目	コンピュータネットワーク論	三谷 和史	p.48	制限なし
	7 19:25～20:55	外国語科目	ドイツ語Ⅰ-2	杉浦 康則	p.34	若干名
		外国語科目	フランス語Ⅰ-2	村山 紀明	p.35	若干名
		外国語科目	中国語Ⅰ-2	加藤 眞司	p.36	若干名
企業法学科科目		社会保障法	片桐 由喜	p.49	制限なし	
金	6 17:45～19:15	企業法学科科目	国 際 法	張 博 一	p.50	制限なし
	7 19:25～20:55	社会情報学科科目	社会情報入門	深田 秀実 三浦 克宜	p.51	制限なし

※1…①パソコンの使用（「インターネットの検索」及び「ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使用」ができること。

②USBメモリ（4GB以上）及びイヤホンを準備できること。

2 オリエンテーション（ガイダンス）について

受講の試聴期間です。受講を希望される方に、授業の概要を把握し、受講する科目を決定する際の参考とするため、本学学生のオリエンテーション期間を試聴期間として提供します。

試聴期間	
・前期	2019年4月4日(木)～4月10日(水)
・後期	2019年9月30日(月)～10月4日(金)

この期間は、学生と一緒にガイダンスを聞いて、授業を選択するかどうかの参考にしてください。オリエンテーションは1回の時間を40分として、10分の休憩をはさみ、1講の間に同じ内容のオリエンテーションを2回実施します。

【前期】オリエンテーション（ガイダンス）時間割

日 時	6 講 目		7 講 目	
	1 回目 17:45～18:25		1 回目 19:25～20:05	
	2 回目 18:35～19:15		2 回目 20:15～20:55	
	科 目 名	講 義 室	科 目 名	講 義 室
4月4日(木)	生 活 と 健 康	301	公 共 政 策	305
	社会科学特別講義 (科学方法論)	305	計 画 数 学	307
	経 営 管 理 論	406	/	
	法 学	160		
	プロジェクト マネジメント基礎	213AL		
4月5日(金)	情報処理基礎	308	歴 史 学 I	401
4月8日(月)	人文科学特別講義 (文化論)	401	憲 法 I	406
	経 済 学 入 門	160	/	
	商 法 II	413		
4月9日(火)	現代企業管理論Ⅱ	301	基 礎 数 学	211
	オペレーションズ リサーチ	406	金融システム論Ⅱ	407
4月10日(水)	日 本 文 学 II	308	民 法 I	308
	刑 法	413	市場システム論Ⅰ	171AL
			/	

【外国語科目】

外国語科目は、オリエンテーションを行わずに、初回から授業を行いますので、初回の授業を試聴日とします。

	科 目 名	試 聴 日	講 義 室
前期	ドイツ語Ⅰ-2	4月4日(木) 7講目	308
	フランス語Ⅰ-2		BL2
	中国語Ⅰ-2		BL1

【後期】オリエンテーション（ガイダンス）時間割

日 時	6 講 目		7 講 目	
	1 回目 17:45~18:25		1 回目 19:25~20:05	
	2 回目 18:35~19:15		2 回目 20:15~20:55	
	科目名	講義室	科目名	講義室
9月30日(月)	心理学Ⅱ	407	管理会計概論	406
	社会思想史Ⅱ	211		
	情報と職業	(情)第3		
10月1日(火)	知的財産法	172AL	数学Ⅱ	305
	計画科学	301	商法Ⅰ	211
10月2日(水)	化学Ⅱ	308	会計学原理	211
	言語文化論	BL2		
	経営学原理	210		
10月3日(木)	哲学	211		
	市場システム論Ⅱ	171AL		
	簿記原理(A)	210		
	簿記原理(B)	160		
	コンピューターネットワーク論	401		
10月4日(金)	国際法	172AL	社会情報入門	305

【外国語科目】

外国語科目は、オリエンテーションを行わずに、初回から授業を行いますので、初回の授業を試聴日とします。

	科目名	試聴日	講義室
後期	ドイツ語Ⅰ-2	10月1日(火) 6講目	BL3
	フランス語Ⅰ-2		407
	中国語Ⅰ-2		BL1

3 公開授業の受講手続きについて

公開授業の申込について

●受付期間

前期科目：2019年4月4日(木)～2019年4月10日(水)

後期科目：2019年9月30日(月)～2019年10月4日(金)

※申込受付は先着とし、定員に達し次第、応募を締め切ります。

●申込方法

1. 申込（窓口・郵送）

① 窓 口：受講申込書（P.54）と顔写真を、以下の申込先の窓口までご持参ください。
※各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきますので、ご了承ください。

② 郵 送：必要書類を以下の申込先までご郵送ください。

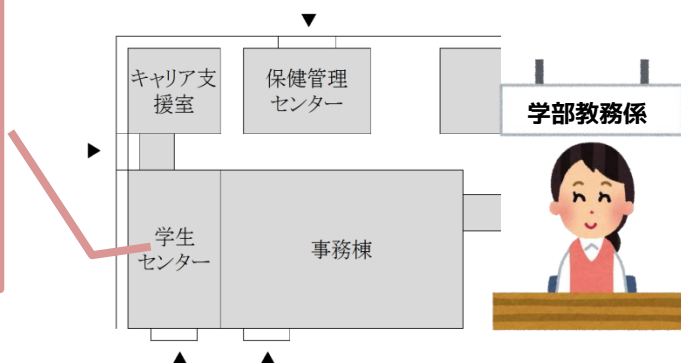
【必要書類】

- ・受講申込書（P.54）
- ・返信用封筒（住所・氏名(様)記入・82円切手貼付）
- ・顔写真（3cm×3cm程度）

2. 受講料の振込

申込受付の際に、振込用紙をお渡しいたしますので、申込日より1週間以内に受講料をお支払いください（郵送で申し込まれた方には、振込用紙を同封いただいた返信用封筒に入れ、お送りいたします）。なお、一旦お支払いいただいた受講料は払い戻しできませんので、ご注意ください。

正門をって右手にある建物（事務棟）に「学生センター」があります。
この学生センター内にある「学部教務係」で、公開講座の受付をしています。



➤問い合わせ・申込先

小樽商科大学教務課学部教務係
(事務棟1階・学生センター内)

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

E-mail: gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

URL: <http://otaru-uc.ac.jp/contr/koukaikouza/>

TEL: 0134-27-5244 FAX: 0134-27-5243

受付時間 8:30～17:15 ※土日祝日、年末年始を除く

◆◇公開授業の受講について◇◆

①本学への来学について

自家用車での来学を希望する場合、受講申込書に車両ナンバー等をご記入ください。受講期間中のみ有効の入構許可証を発行します。
フロントガラスから視認できる位置に掲示してください。

②受講方法・修了証書

(授業前) 学生センター内学部教務係の窓口に立ち寄り、用意されている出席簿に出席状況を記録してください。出席率が70%以上で、通常公開講座修了証書を発行いたします。

(授業中) 申込後にお渡しする受講証を机上の見やすいところに置いて、受講してください。

③講義室の変更・授業の休講について

授業の実施状況により、講義室が変更となる場合があります。附属図書館2階ホールに掲示をしていますので、確認してください。また、休講となる授業がある場合も、同様の場所に掲示をいたします。休講の情報については、インターネットからも閲覧することができます。

▶休講情報：<http://stu.kyomu-s.otaru-uc.ac.jp/canceled>

④附属図書館の利用について

図書館改修工事のため、2019年2月9日(土)～10月7日(月)の間は長期休館します。この間、学外の方へのサービスは、利用者登録・IDカード更新も含めて全面停止させていただきます。

再開は、10月8日(火)からを予定しておりますが、工事の進捗状況により変更もあります。

<再開後のご利用方法について>

一般市民の方はどなたでも、本学の図書館を利用することが可能です。ご利用を希望される場合は、IDカードを作成する必要がありますので、図書館カウンターで所定の手続きをお取り下さい。

4 授業内容について

科目名	人文科学特別講義（文化論）			ガイダンス日	4月8日(月)	前期
担当教員	谷川 靖郎			募集人数	若干名	
開講時間	月曜6講	教室	401	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 本講義は、古代インドにおける精霊信仰・呪術信仰の紹介を通じて、異文化の理解、さらには自らの文化への理解を深めることを目的とする。特に、仏教文献に見られる鬼神の伝承を取り上げ、憑依や悪霊祓い、生ける死者（ゾンビ）など、ある種のファンタジー文学に登場するような呪術・精霊の世界と、反呪術的宗教として始まった仏教との対決・交渉などの様相を探っていく。適宜、日本を含む他の地域・時代の呪術・宗教思想も紹介し、比較を行っていく。				3. 履修上の注意 特になし		
2. 授業内容 オリエンテーション 資料の扱いについて ヴェーターラ（屍鬼）：生ける死者の使役 アータヴァカ（曠野鬼神）：夜叉と種族社会 ナーガ：トーテミズムと他者 六道輪廻：餓鬼道と畜生道 憑依と悪霊祓い 異人と呪術 結び：仏教・呪術・精霊信仰				4. 使用教材 毎回、資料を配布します。		

科目名	経済学入門			ガイダンス日	4月8日(月)	前期
担当教員	中村 健一			募集人数	10名	
開講時間	月曜6講	教室	160	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 経済学を初めて学ぶみなさんに、平易にその内容を紹介する講義です。本科目では、消費者、生産者および政府など、個別主体の行動の集計として経済社会を考える「ミクロ経済学」の入門的内容を講義します。 講義に関するさまざまな連絡や資料の配付を、ウェブサイト（ホームページ）を用いて行ないません。リンク先ホームページアドレスにあるurlを利用して下さい。				3. 履修上の注意		
2. 授業内容 第1章 現代の経済学 第2章 経済学的な考え方 第3章 需要、供給、価格 第4章 需要・供給分析の応用 第5章 市場と効率性 第6章 不完全市場入門 第7章 公共部門				4. 使用教材 ジョセフ・E・スティグリッツ/カール・E・ウォルシュ著 『スティグリッツ入門経済学 第4版』東洋経済新報社		

科目名	商法Ⅱ			ガイダンス日	4月8日(月)	前期
担当教員	多木 誠一郎			募集人数	若干名	
開講時間	月曜6講	教室	413	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 (授業の目的) この授業では、商人にかかる制度の基礎を学ぶとともに、商事売買をはじめとする、商人が主体になっている取引を巡る法律関係について勉強します。商事にかかる制度・取引について、筋道を立てて説明できるようになることを目的にします。 (授業の方法) 指定する教材にできるだけ沿って担当教員が解説する形で、授業を進めていきます。上記目的を達成するために、実際に裁判所に持ち込まれた具体的な事例を参照しながら解説していきたいと思えます。				3. 履修上の注意 ①教科書 2018年商法改正を織り込んだ図書が年度初めにかけて数冊発売予定です。発売が確実にされたものを後ほど教科書として選定して、掲示板・manabaでお知らせします。 ②判例集 ・江頭憲治郎＝山下友信編『商法（総則・商行為）判例百選』（有斐閣、第5版、2008年） (2)参考書（購入の必要はありません） ・落合誠一ほか『商法Ⅰ 総則・商行為（有斐閣Sシリーズ）』（有斐閣、第6版、2019年予定） ・近藤光男『商法総則・商行為法』（有斐閣、第8版、2019年予定）		
2. 授業内容 商法総則 ・商行為と商人 ・商業登記 ・商号 ・営業 ・商業使用人 商行為法 ・一般規定 ・商事売買 ・種々の営業				4. 使用教材 ・試験前に一挙に勉強するのではなく、コツコツと地道に勉強していきましょう。		

科目名	憲法 I			ガイダンス日	4月8日(月)	前期
担当教員	小倉 一志			募集人数	制限なし	
開講時間	月曜7講	教室	406	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 本講義では、「基本的人権」の領域を中心に扱う。テキスト(下記参照)の内容に沿いながら、それぞれの規定が持つ意味内容を学説・判例ともからめつつ、明らかにしていきたい。				3. 履修上の注意 ・「夜間主の憲法 I」は、半期2単位であることから、同一領域を扱う「昼間の憲法・基礎 I・基礎 II」の半分の授業時間しか与えられていません。従って、「夜間主の憲法 I」では扱えない部分も生じてしまうことを予めご了承ください。 ・講義中の私語、携帯電話の使用など、他の受講者の迷惑になる行為については、厳しく対処します。迷惑行為を繰り返す者に対しては、成績評価を行いません。 ・テキスト・六法は毎回持参すること。 ・講義内容の予習・復習をきちんと行うこと。「基本的人権」に関する基礎的な知識は高校までの政経などで修得済みの学生が多いと思いますが、この授業は「『大学』の『専門科目』」として開講されるものです。努努(ゆめゆめ)油断なさらぬように。		
2. 授業内容 0. オリエンテーション 1. 基本的人権の原理 2. 基本的人権の限界 3. 包括的基本権と法の下の平等 4. 精神的自由権(1) - 内心の自由 5. 精神的自由権(2) - 表現の自由 6. 経済的自由権 7. 社会権 8. 国務請求権と参政権 9. 人身の自由 * 詳細な授業内容(授業計画)については、第1回目のオリエンテーションでお示しする予定です。				4. 使用教材 芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法〔第7版〕』(岩波書店・2019年)及び、六法(出版社、サイズは問いません)。		

科目名	ドイツ語 I-1			ガイダンス日	-	前期
担当教員	副島 美由紀, 杉浦 康則			募集人数	若干名	
開講時間	火曜6講 木曜7講	教室	火曜: BL3 木曜: 308	受講料	13,200	
1. 授業の目的・方法 ドイツ語の基本語彙や文法を学び、簡単な会話や読解力を身に着けることを目的とします。 ドイツ語 I-1 は、「会話」と「文法」の両方に配慮した総合教科書(CD付き)の前半部分を使い、週2回(火・木)の授業を行ないます。聞き取りや読解の練習も織り込みながら、総合的なドイツ語力の向上を目指します。外国語の学習には、あくまで能動的な学習態度が求められます。受身にならず、積極的に参加して下さい。語学の学習には王道はなく、日々の努力が大切となりますが、本来は楽しいものです。これから半年、ドイツ語を積極的に楽しく勉強していきましょう。				3. 履修上の注意 火曜と木曜の授業は連動しており、2単位は一括して出ますから各曜日もれなく出席すること。特に、最初の数回を連続して休むと一気にこなれなくなる場合がよくありますので、注意してください。		
2. 授業内容 1-4週 : 【文字と発音】【あいさつ】【動詞の現在人称変化】【数字】 5-8週 : 【名詞の性、格変化】【所有・否定冠詞】 9-12週 : 【時刻】【疑問詞】 13-15週 : 【曜日・月・季節】【前置詞】【話法の助動詞】など				4. 使用教材 『シュトラッセ・ノイ Ver. 3.0』(新野守弘他著、朝日出版社、2,400円)		

科目名	フランス語 I-1		ガイダンス日	-	前期
担当教員	村山 紀明, 尾形 弘人		募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講 木曜 7 講	教室	火曜 : 407 木曜 : BL2	受講料	
1. 授業の目的・方法 フランス語の基礎的な運用能力（話す、聞く、読む、書く）の養成を目指します。口、耳、目、手を総動員して練習に取り組んでください。大いに間違いを繰り返しながら、少しずつ着実に定着させていきましょう。皆でわいわいやりながら、しかしポイントでは集中して、フランス語という新しい世界を楽しみましょう。			3. 履修上の注意 辞書については追って指示する。		
2. 授業内容 各課のテーマは下のとおりです。 1 課 : アルファベ、発音 2 課 : 名詞、不定冠詞、定冠詞 3 課 : 「～である」 4 課 : 「もっている」、部分冠詞、否定文 5 課 : 第一群規則動詞、疑問文 6 課 : 形容詞、命令形 7 課 : 所有形容詞、比較級、「したい」、「できる」 8 課 : 「行く」、「来る」、冠詞の縮約、疑問副詞 9 課 : 近接未来、近接過去、疑問代名詞 10 課 : 疑問形容詞、時刻・天候表現 11 課 : 目的補語、代名動詞 12 課 : 複合過去			4. 使用教材 太原孝英他著『新ケンとジュリー1』、駿河台出版社		

科目名	中国語 I-1		ガイダンス日	-	前期
担当教員	章 天明, 加藤 眞司		募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講 木曜 7 講	教室	火曜 : BL2 木曜 : BL1	受講料	
1. 授業の目的・方法			3. 履修上の注意		
<p>【加藤】 中国語の発音とピンイン [中国語の発音の表記法] を学びます。また、日常生活の様々なシーンで必要とされる中国語の力が身につくよう、基本的な文法をふまえて、話す(やり取り、表現)力・聞く力・読む力・書く力の習得を目指します。具体的には、受講者が授業に積極的に参加できるように、会話練習では学生同士でペアを組み練習を繰り返します。また、中国語を楽しく学び理解を深めるために、中国文化などについて触れながら授業を進めていきます。</p> <p>【章】 中国語の初級について、発音事項を中心に学び、以後の学習のための基礎的な力の習得を目指します。中国語の発音、基礎的な語彙・文法及び日常応用表現を学び、それをペアワークなどで繰り返して練習することにより、コミュニケーションに必要な最も基本的な表現が身につけられるようにします。</p>			<p>4. 使用教材</p> <p>【加藤】 ①『入門中国語—開開心心学漢語』上原徳子・張 廣慧・関 黎明(同学社、2300 円+税) ②適宜プリントを配布</p> <p>【章】 『中国語精選サラダ』劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記(朝日出版社)及びプリント</p> <p>5. 備考</p> <p>学生へのメッセージ: 【加藤】積極的に(授業中は大きな声を出す! など)授業に参加して下さい。中国語そして中国文化を楽しく学びましょう! 【章】予習と復習をしっかりと、授業中は楽しく学びましょう。</p>		
2. 授業内容					
<p>【加藤】 最初は、中国語の発音方法を学習します。中国語の音に慣れるために、声調・母音・子音の発音訓練を繰り返します。その次に、基礎的語彙・文法に取り組み、理解を深めて、自然な中国語会話や中国語作文を学習していきます。主な学習項目は下記の通りです。</p> <p>中国語の文字・発音・表記、人称代名詞、名前の尋ね方、形容詞、比較、「的」の用法、指示代名詞、動詞「是」「有」「在」の用法、選択疑問文、動詞、方位詞、完了「了」、金額の表現、前置詞、副詞、数詞、持続「着」</p> <p>【章】 発音練習では、母音・子音・声調の訓練を繰り返し、ピンインの発音を十分練習します。中国語の音に慣れた後、基礎語彙、簡単な基本文型を学び、「会話」、「トレーニング」、「リスニング」、及び「書取りテスト」、「口頭試験」などを用いて、初歩的な会話と文章を勉強します。</p>					

科目名	現代企業管理論Ⅱ			ガイダンス日	4月9日(火)	前期
担当教員	林 松国			募集人数	若干名	
開講時間	火曜6講	教室	301	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 現代企業管理論Ⅱでは中小企業について学ぶ。中小企業は経済的にも社会的にも大企業と異なる独自の役割を果たしている。 本講義では、中小企業に関する基礎知識を理解したうえで、中小企業の諸特徴を踏まえつつ、主に、中小企業の発展性と問題性、中小企業の社会的分業関係、中小企業の経営戦略といった側面から中小企業について体系的に学ぶ。				3. 履修上の注意 経営学関連の内容が多いので、経営学分野の他の授業を併せて受講することが望ましい。また、経済・産業の動きについて、日ごろから新聞・ニュースを見ることを勧める。		
2. 授業内容 第1回 オリエンテーション、中小企業とは何か 第2回 中小企業の経営特性 第3回 中小企業の発展性 第4回 中小企業の問題性 第5回 産業集積と中小企業 第6回 下請システム 第7回 下請中小企業の自立化 第8回 中小企業の経営戦略① 第9回 中小企業の経営戦略② 第10回 ベンチャー企業の経営 第11回 ベンチャー企業への支援 第12回 中小企業の海外進出 第13回 中小企業金融① 第14回 中小企業金融② 第15回 まとめ				4. 使用教材 <教科書> 渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫(2013)『21世紀中小企業論』有斐閣アルマ <参考書> 黒瀬直宏(2012)『複眼的中小企業論：中小企業は発展性と問題性の統一物』同友館 松野周治・今田治・林松国編著(2016)『東アジアの地域経済発展と中小企業』晃洋書房		

科目名	オペレーションズ・リサーチ			ガイダンス日	4月9日(火)	前期
担当教員	原口 和也			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜6講	教室	406	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 本講義では、オペレーションズ・リサーチ(OR)で扱う手法の内、応用範囲の広い、ゲームの理論、日程計画、線形計画法、組合せ最適化法などを学修するとともに、それらを実際に身近なソフトウェア(Excel)で実践するためのスキルを身に付けることを目標とする。				3. 履修上の注意 4. 使用教材 大堀, 加地, 穴沢: 例題で学ぶOR入門, コロナ社.		
2. 授業内容 日程計画 線形計画法 予測 在庫管理 ゲームの理論 AHP 組合せ最適化 など						

科目名	基礎数学			ガイダンス日	4月9日(火)	前期
担当教員	赤塚 広隆			募集人数	若干名	
開講時間	火曜7講	教室	211	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 本科目では、数学の基本的な考え方や論理を身につけることを目的として、初等整数論を学習する。整数の四則演算のように多くの人が知っていることから始め、整数の性質を説明していきたい。本科目は基本的に板書で授業を進める。また、適宜、問題演習の時間を設ける。				3. 履修上の注意 簡単な四則演算ができれば理解できる授業を行う予定である。しかし、証明などの論理にもある程度の重点を置くつもりである。そのため、論理の積み重ねを厭わないことが求められる。		
2. 授業内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 様々な数、背理法 3. 論理と集合 4. 整数の除法 5. 約数、倍数 6. 公約数、最大公約数 7. ユークリッドの互除法 8. 整数係数一次方程式 9. 数学的帰納法 10. 整数係数一次方程式の理論の活用、演習 11. 素数 12. 合同式 13. フェルマーの小定理 I 14. 写像 15. フェルマーの小定理 II 				4. 使用教材 教科書： 赤塚，基礎数学 ー整数を題材に数学の基本を学ぶー，学術図書出版社，2019年。 授業中に適宜、参考書を紹介する。		

科目名	金融システム論Ⅱ			ガイダンス日	4月9日(火)	前期
担当教員	中浜 隆			募集人数	若干名	
開講時間	火曜7講	教室	407	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 授業の目的は、おもに保険の基礎理論と保険業の概要について学習し、理解することにあります。 方法は、教科書（「使用教材」の項目に記載）の各章（「授業内容」の項目に記載）を順次説明していきます。また、必要に応じて授業中に資料を配布します。				3. 履修上の注意 当シラバスの内容に変更・追加などがある場合には、第1回授業（オリエンテーション）の時に伝えますので、オリエンテーションにも出席してください。		
2. 授業内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) リスクと保険の基礎理論 (2) 保険契約 (3) 保険経営 (4) 保険金融 (5) 保険業と保険市場 				4. 使用教材 近見正彦・堀田一吉・江澤雅彦（編）『保険学（補訂版）』有斐閣、2016年 ※「補訂版」です（「初版」ではありません）ので、注意してください。		

科目名	民法Ⅰ			ガイダンス日	4月9日(火)	前期
担当教員	橋本 伸			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜7講	教室	308	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 【授業の目的】 本講義では、民法の「民法総則」および「不法行為」を取り上げ、主要な制度および概念について概説する。 【授業の方法】 講義形式による。				第10回 代理②：表見代理 第11回 時効 第12回 不法行為①：概説、基本的不法行為の要件(1) 第13回 不法行為②：基本的不法行為の要件(2) 第14回 不法行為③：基本的不法行為の効果 第15回 まとめ ※講義内容は、あくまで予定であり、進行の具合により変更になることがありうる(第15回は調整回としている)。		
2. 授業内容 第1回 オリエンテーション 第2回 民法概論①：民法の意義、民法の解釈 第3回 民法概論②：民法典の構成と概観 第4回 主体：自然人、法人 第5回 法律行為(契約)①：法律行為の概観、契約の無効原因(1)(心理留保、虚偽表示、意思無能力) 第6回 法律行為(契約)②：契約の取消原因(1)(制限行為能力) 第7回 法律行為(契約)③：契約の取消原因(2)(詐欺、強迫) 第8回 法律行為(契約)④：契約の取消原因(3)(錯誤取消し) 第9回 代理①：代理の基本構造、無権代理				3. 履修上の注意 4. 使用教材 教科書 ①永田真三郎＝松本恒雄＝松岡久和＝横山美夏『民法入門・総則(第5版)』(有斐閣、2018) ②六法(最新版。ポケット六法等の簡易なものによる) 参考書 ①潮見佳男＝道垣内弘人編『民法判例百選Ⅰ総則・物権(第8版)』(有斐閣、2018年)		

科目名	日本文学Ⅱ			ガイダンス日	4月10日(水)	前期
担当教員	中村 史			募集人数	若干名	
開講時間	水曜6講	教室	308	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 この授業では日本の古典文学を取り扱います(「古典文学を読むⅡ」)。日本の文学と文化の一端を知っていただくことを目的としています。日本の古典文学作品、『古事記』『日本書紀』『万葉集』『大和物語』『平家物語』『雨月物語』等の幾つかを取り上げます。また、口承文芸をも視野に入れ、インドや中国他の外国文学の作品との比較の視点を持ちつつ授業を進めます。				3. 履修上の注意 古典文学を対象とする授業であり、古典文学テキストの講読が含まれます。履修者は、古典文法を修得しており、かつ、古文・漢文を一定以上読めることが必須となります。 履修希望者は必ずオリエンテーションと第1回授業に出席してください。オリエンテーションの際にのみ得られる情報もあります。		
2. 授業内容 ・オリエンテーション ・海幸・山幸、または、ヤマタノヲロチ→『古事記』『日本書紀』 ・浦島の文学→『日本書紀』『万葉集』～『御伽草子』～国定教科書 ・処女塚・求女塚→『万葉集』『大和物語』ほか ・一条戻橋→『平家物語』『三国伝記』ほか ・菊花の約、または、浅茅が宿→『雨月物語』 *状況を見て予定を変更することはあり得ます。				4. 使用教材 テキストはとくに定めず、プリントを配布します。レポートを課す場合、レポート用図書は購入していただきます(後日授業中に指示)。		

科目名	刑法			ガイダンス日	4月10日(水)	前期
担当教員	竹川 俊也			募集人数	制限なし	
開講時間	水曜6講	教室	413	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 刑法とは、どのような行為が犯罪となり、それに対してどのような刑罰が科されるかを定めた法律です。この講義では、特に「刑法総論」と呼ばれる分野を扱います。犯罪と刑罰の関係性をめぐる諸問題について受講者各位が理解できるようになることを目的とします。				3. 履修上の注意 どのようなものでも結構なので、必ず六法を持参してください。		
2. 授業内容 第1回 ガイダンス 第2回 刑法入門 第3回 刑法の基礎理論(1) 第4回 刑法の基礎理論(2) 第5回 構成要件(1): 総説、因果関係① 第6回 構成要件(2): 因果関係② 第7回 構成要件(3): 不作為犯 第8回 違法論(1): 総説、被害者の同意 第9回 違法性(2): 正当防衛 第10回 違法性(3): 過剰防衛、緊急避難 第11回 責任論(1): 総説、故意 第12回 責任論(2): 錯誤 第13回 責任論(3): 過失 第14回 修正された構成要件(1): 未遂犯、共犯① 第15回 修正された構成要件(2): 共犯② ※授業の進捗状況により前後します。				4. 使用教材 ・教科書 島伸一編『たのしい刑法I 総論〔第2版〕』(弘文堂、2017年) 十河太朗・豊田兼彦・松尾誠紀・森永真綱『START UP 刑法判例50! 総論』(有斐閣、2016年) ・参考書 山口厚・佐伯仁志編『刑法判例百選I 総論〔第7版〕』(有斐閣、2014年) 詳細については、初回の授業で案内します。		

科目名	市場システム論 I			ガイダンス日	4月10日(水)	前期
担当教員	高宮城 朝則			募集人数	若干名	
開講時間	水曜7講	教室	171AL	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 この授業では市場にかかわる様々な文献を講読することを通じて、市場システムへの多角的な理解と視点を獲得することを目的とする。市場は売手と買手が出会う場であり、取引・交換が達成される場でもある。この授業では市場システムへの中心的アプローチである流通論やマーケティング以外に、より広く市場にかかわる様々な文献を取り上げ、市場概念の広さと深さを理解することを狙いとする。授業は一般的な文献講読の進め方にしたがって行う。すなわち、取り上げる文献について予め受講者のなかから担当者を指名する。担当者は資料を作成し、授業時間に報告を行う。その後、全体での質疑応答を行う。取り上げる文献資料は紙媒体で毎回配付する。担当者の報告資料は Manaba において配信し閲覧に供する。				3. 履修上の注意 ・この授業は文献講読を行うので、予習として事前配付される資料を読んでおくことが必須となる。 ・取り上げる文献資料は各回 10～20 頁程度のものになるので、相応の予習（読書）時間がかかることを念頭において履修・受講すること。 ・この授業では出席確認はしない。授業中に発言した受講者の名前・学籍番号は授業の終了時に確認を行う。		
2. 授業内容 第1回のオリエンテーションにつづき、以下のトピックについて各3本程度の文献（学術書・学術論文、雑誌記事など）を取り上げる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ・マーケティングの発想と転換（第2～4回） 2. マクロ・マーケティングの視座（第5～7回） 3. 交換・取引の原義を探る（第8～10回） 4. 社会・文化と市場（第11～13回） 5. 全体をとらえる（第14、15回） 				4. 使用教材 教科書は指定しない。 授業で取り上げる予定の文献は以下の書籍の一部であるが、他の文献も取り上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・クレイトン・M・クリステンセン（2017）『ジョブ理論』ハーパーコリンズ・ジャパン ・栗木契、横田浩一編（2018）『デジタル・ワークシフト』産学社 ・ハンス・ロスリング他（2019）『ファクトフルネス』日経BP社 ・ジェフリー・ミラー（2017）『消費資本主義』勁草書房 ・吉川尚宏（2018）『「価格」を疑え』中央公論新社 ・ケネス・ガーゲン他（2018）『現実はいつも対話から生まれる』ディスカバリー・トゥエンティワン 		

科目名	生活と健康			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	花輪 啓一			募集人数		
開講時間	木曜6講	教室	301	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 最近の診療技術、治療医学は目覚しく進歩している。がんの早期発見・治療によって、かなりのがんは完全に克服できるようになってきている。しかし、最も良いことは、癌にかからないことであることは言うまでもない。 ハーバード大学のパuffenberger博士らの研究や八万人以上の女性を対象にしたマンソン博士らの研究で、習慣的運動の継続が心筋梗塞、糖尿病などの病気に対して非常に有効であり、統計学的にも明らかにその危険度を軽減させることが明らかにされています。興味深いことは、糖尿病の場合、遺伝的要因、肥満、高血圧症などの発症の危険因子が高い人ほど運動の予防医学的効果が顕著に現れていることである。 また、二十一世紀の高齢化社会で特に問題となりそうな癌、心臓・脳血管疾患、認知症などの病気の発症には、遺伝的な要因と後天的な環境因子（食生活、ライフスタイル、運動習慣など）が相互に関与していることが分かってきています。最近の分子生物学の研究は特に目覚しく、各個人の癌や循環器疾患やその他の生活習慣病の遺伝子を探り出して、病気を予知できることが可能になってきています。そこで、この授業では病気にならない健康に良い環境因子をどのように整え、如何に健康的な人生を過ごすことができるかを学ぶことを目的とする。				2. 授業内容 1. オリエンテーション 2. 健康の概念 4. 健康をめぐる国際的動向 5. 発展途上国および先進工業国の健康問題の実態とその対策状況 6. 高齢化と健康問題 7. 人口転換と健康転換 8. ストレスはなぜ起こるか 9. 睡眠と健康 10. 食事と健康 11. うつ病と新型うつ 12. 現在社会と自殺 13. ハイテクノロジーと健康 14. 人間関係とこころの健康 （番号は講義順序ではない）		
3. 履修上の注意 出席調査は原則的には毎講時出席をとるが、履修者多数の場合には不定期に調査し、出席状況を把握する。また授業開始30分経過して遅刻した場合、正当な理由がない限り欠席とする。				4. 使用教材 指定図書・参考文献はない。Power Point を用いて講義する。また、必要に応じて資料を配布する。		

科目名	社会科学特別講義（科学方法論）			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	佐々木 邦子			募集人数	3名	
開講時間	木曜6講	教室	305	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 この講義は労働市場についての初学者を対象としており、労働市場に関する基本的な考え方や分析手法を説明し興味を持ってもらうことが目的である。本科目では、特に一般労働者、若者の視座から労働市場の情勢を科学的に概観し問題提起を行う。				11. 若年労働における海外の情勢 特に、EU域内での若年労働について、若年者の失業率から動向を探る。		
2. 授業内容 <ol style="list-style-type: none"> 本講義の目的と進め方 現在の労働市場を概観する。 高度経済成長期の労働市場 経済の発達が我が国の労働市場に与えた影響を知る 日本的雇用慣行の衰退と成果主義の進行 1990年代前半に急変した我が国経済が雇用に与えた影響を探る。 多様化する雇用形態 雇用慣行の変遷により翻弄される人々の実態を知る。 労働市場の二重構造 非正規労働拡大の実態を見る。 労働者を保護する法制度 解雇権濫用の法理など、不条理な解雇から労働者を守る法制度を知る。 雇用環境に変化を与えた政策の功罪 新自由主義による政策が労働市場に及ぼした影響を探る。 若年労働市場の現状 現時点で若年労働市場の状態を統計的に見る。 若年労働における課題（社会経済の影響と若者自身の面から） 社会問題化した1990年代から2000年代にかけての動向を見る。 ILOの若年労働に対する政策課題 若者の労働に対してディーセント・ワークを重点課題とした背景を見る。 				12. 若者の労働に定評があった国の例 若者の失業率の低値を維持した国の政策を社会と教育の双方から見る。		
				13. 我が国における少子高齢社会の労働力減少に対する政策的含意 若者・高齢者・女性の就業促進のねらいを理解する。		
				14. 社会人の労働を支える政策の必要性 ILO、有給教育休暇条約に関する我が国の動向を知る。		
				15. これまでの講義内容を振り返りまとめる。 現代社会の労働市場の変遷を振り返り、今後の課題を探る。		
				3. 履修上の注意 講義の目的と内容をよく検討したうえで、最後まで講義に参加する意思を持てる方の受講を希望する。 ※受講申請学生が座席数を超えた場合、教務課において抽選し受講学生数の調整をする。		
				4. 使用教材 テキストの代わりとしてレジュメを配布する。		

科目名	経営管理論			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	加賀田 和弘			募集人数	若干名	
開講時間	木曜6講	教室	406	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 経営管理とは、企業がその目的を達成するために行う、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源を、いかに調達・配分・組み合わせ・統合するかに関する様々な意思決定とその活動のことである。本講義では、なかでも「ヒト」、特にその「協働体」としての「組織」に注目し、さまざまな角度から分析・考察する。 本科目の履修を通して獲得が期待される能力・技能は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・経営管理論に関する基礎的な理論を理解し、自らの言葉で説明できる。 ・経営管理論の観点から、企業において実行されている経営実践への（批判的）検討ができる。 				3. 履修上の注意 4. 使用教材 教科書・参考文献として『ゼミナール経営学入門[第3版]』（伊丹敬之・加護野忠男著, 日本経済新聞社, 2003年）第Ⅱ部「組織のマネジメント」を使用。 講義内容の理解のため、出来るだけ購入するのが望ましいが、購入しなくとも講義内容は十分把握可能である。		
2. 授業内容 授業の形式は講義形式とするが、学習内容の理解を深める目的で映像資料の視聴、教員と学生、学生同士の双方向のやりとりを含めたグループ・ディスカッションを複数回行うことも考えている。 講義スケジュールは以下のとおり。 なお、進行状況等に応じて変更する場合がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営管理論基礎 ・ 組織と個人 ・ 組織構造 ・ 動機付け ・ 経営理念と組織文化 ・ グループ・ディスカッション 						

科目名	法学			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	齊藤 健一郎 外			募集人数	制限なし	
開講時間	木曜6講	教室	160	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 この講義は、主に1年生を対象として、法律学の魅力を伝えと共、様々な法分野のごく基本的な知識を提供することを目指すものです(1年生以外も履修は可能です)。そのため、この講義では毎回ごとに企業法学科の様々な教員が、いくつかの大きなテーマ群のもと、様々な法分野に関して講義していく方式(オムニバス方式)で進めていきます。 ※昼夜同時開講				3. 履修上の注意 各回の講義内容に関する質問等は、各回の担当教員にしてください。講義内容以外の事項に関する問い合わせは、原則として、この講義全体を担当する齋藤(ksaito@res.otaru-uc.ac.jp)宛てにメールをしてください。		
2. 授業内容 第1回(4/4) オリエンテーション 第2回(4/11)(民法入門) どうして約束は守らないといけないの? *教科書 第2章 第3回(4/18)(民法入門) どうして所有権は存在するの? *教科書 なし 第4回(4/25)(民法入門) 事故を起こしたら責任を負われるの? *教科書 第4章 第5回(5/9)(商法入門) 会社って儲けないでいいの、農協って儲けていいの? *教科書 なし(参考として、第12章) 第6回(5/16)(商法入門) 会社法ってどんな法律なの? *教科書 なし(参考として、第12章) 第7回(5/23)(商法入門) 保険と賭博は違うの? *教科書 第13章 第8回(5/30) 確認テスト 第9回(6/6)(国際経済法入門) TPPは北海道経済にどのような影響を与えるの? *教科書 エピローグ 第10回(6/13)(知的財産法入門) 手で掴めないものにも権利があるの? *教科書 第11章 第11回(6/20)(社会保障法入門) もしも、医療保険制度がなかったらどうなるの? *教科書 なし 第12回(7/4)(憲法入門) 校長先生の決定には従わないといけないの? *教科書 第6章 第13回(7/11)(憲法入門) 人権とは何だろう? *教科書 なし(参考として、第7章) 第14回(7/18)(行政法入門) わたしの法とみんなの法 *教科書 第1章 第15回(7/25) 未定(後日、掲示する)				4. 使用教材 林誠司編『カリンと学ぶ法学入門』(法律文化社、2015年) ※教科書は、予習で使用するほか、確認テスト・期末試験では教科書からも出題をしますので、必ず購入すること。 六法(最新のもの。出版社は何でもよい。) ※今後ほかの法律科目の履修を考えている人は、六法(小型のもの)を購入して用意しておくことをお勧めします。		
				5. その他 *講義資料は、概ね、各回の授業の数日前にmanabaにて閲覧・ダウンロードできるようにします。		

科目名	プロジェクトマネジメント基礎		ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	平沢 尚毅、深田 秀実		募集人数	制限なし	
開講時間	木曜6講	教室	213AL	受講料	
1. 授業の目的・方法 現実社会は、人々が「何かことを成す」ことによって動いています。人を動かし、目的を達成するための知識は、本を読んだり授業を聞くだけでは身につかず、自分で積極的に活動し、プロジェクトに参加しなければ、得ることができません。 本授業では、参加者のグループワーク（擬似プロジェクトへの参加）を通じてプロジェクトマネジメント知識の体得を目標に置いています。 この講義では、受講生同士の授業時間以外のスケジュール調整やリーダーシップの発揮に「真剣に」取り組むことが求められます。			第1回 ガイダンスグループ分け 第2-5回 プロジェクトマネージメントの基礎技能 第6回 実施計画に関するプレゼンテーション 第7-10回 プロジェクト運営のための基礎技能 第11回 中間報告プレゼンテーション 第12~14回 プロジェクト終結のための基礎技能 第15回 最終プレゼンテーション		
2. 授業内容 受講者は数人程度のグループに分かれ、学内で利用する情報サービスの企画を提案することから始めます。次に、このサービスを開発し、運用して成果をまとめます。プロジェクトの各段階では、グループでの議論と作業を行い、その経過を授業時間で報告してもらいます。 各グループの発表や報告を通じて「プロジェクトマネージメント」について考察し、個人レポートを提出することも義務づけられます。			3. 履修上の注意 他の参加者の迷惑になるので、安易な気持ちで履修届けを出さないこと。必ず、オリエンテーションに参加すること。こと。 この講義は、デジタルデザイン論と連動して行われるため、デジタルデザイン論の履修が前提になっているので、注意すること。		
			4. 使用教材 必要に応じ、資料、シートを配布。参加者が準備しなければならないものもあるが、その都度指示します。		

科目名	公共政策			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	天野 大輔			募集人数	若干名	
開講時間	木曜7講	教室	305	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法</p> <p>今や市場経済は、欧米諸国だけでなく、世界的規模でその地位を確立しています。しかしながら、あらゆる経済取引を市場原理に任せて放置すると、非効率的な資源配分や所得分配の不等などのような、いわゆる「市場の失敗」が発生します。そのような非効率的な資源配分の解決手段として、政府や公的部門の経済活動である「財政」の政策的介入を通じて、適切な財政政策や公共政策を実施する必要があります。他方、日本や欧米をはじめとする多くの先進資本主義国では政府や公的部門の経済活動の比重が高まった結果、しばしば民間の生産・投資活動が圧迫・阻害されて、その経済的な非効率性が批判されています。</p> <p>本講義では、そのような政府や公的部門による公共政策、特に租税政策や財政政策の経済的効果、およびその在り方を学びます。</p> <p>2. 授業内容</p> <p>下記の「参考書」から、租税政策に関する以下のトピックを選んで講義します。ただし、受講者の理解度によっては、該当トピックを理解するための準備的考察に対して、ある程度の講義時間を割く可能性があります。</p> <p>イントロダクション：日本の財政および税制の現状 14章：税や価格規制による歪みと市場の失敗 3章：社会厚生関数と所得分配 →ただし、所得再分配を中心に講義する予定</p> <p>上記のように、租税理論を中心に講義するが、その他のトピックの候補として、現時点では下記のいずれかを予定している。</p> <p>6章：分権制による公共財の配分 10章：財政的外部性 15章：政府の失敗</p>	<p>3. 履修上の注意</p> <p>学部レベルのミクロ経済学および経済数学関連の講義を既に履修済、あるいは同時履修していることが望ましい。</p> <p>授業は講義形式で、主にプロジェクターによる投影資料を用いる。講義前のレジュメの配布はしないので、本大学HPの『manaba のコースコンテンツ』から該当するレジュメ (or 講義資料) を各自で事前にダウンロードする必要がある。</p> <p>4. 使用教材</p> <p>本講義は2単位のため、以下の文献を参考書として使用します。また、その他の参考書および参考資料などは授業中に適宜、提示します。</p> <p>板谷淳一・佐野博之（共著）『コア・テキスト 公共経済学』新世社（2013年）</p>
---	--

科目名	計画数学			ガイダンス日	4月4日(木)	前期
担当教員	小泉 大城			募集人数	制限なし	
開講時間	木曜7講	教室	307	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 本科目では、解析学の基礎的な事項、特に微分と積分の定義とそれらの計算法について学習する。 また、これらの事項が実社会に適用されている事例も合わせて学習することで、社会現象を数理的に分析する基礎的な考え方を学習する。				3. 履修上の注意 担当教員にメールで連絡する際には、学内の情報総合センター発行のメールアドレスを使うこと。		
2. 授業内容 (1)関数と極限 (2)いろいろな関数の微分 (3)関数の極限 (4)関数の増減 (5)いろいろな関数の(不定)積分 (6)置換積分と部分積分 (7)面積や体積の計算とその応用				4. 使用教材 佐野公朗 著、「計算力が身に付く 微分積分」, 学術図書出版社。		

科目名	情報処理基礎			ガイダンス日	4月5日(金)	前期
担当教員	佐藤 剛			募集人数	制限なし	
開講時間	金曜6講	教室	308	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 情報理論、コンピュータシステムおよびインターネットに関する基礎的な事柄について学習する。 情報処理、ソフトウェア科学(昼間コース開講)、コンピュータネットワーク論等の上位科目につながる基礎的な知識の習得を主目的とする。				3. 履修上の注意		
2. 授業内容 以下の事柄について教科書を中心に学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・2進数等による情報の表現 ・コンピュータ(ハードウェア)の基本的な動作原理 ・オペレーティングシステム(OS)のしくみと役割 ・コンピュータソフトウェアの基礎(アルゴリズム及びプログラム作成法等) ・コンピュータネットワーク(インターネット)の基本的な動作原理 ・ネットワークセキュリティ ・デジタル情報の特性と安全性および倫理上の問題 				4. 使用教材 [教科書] 監修: 木村 春彦 著者: 田嶋 拓也, 阿部 武彦 書名: コンピュータ科学の基礎 出版社: 共立出版		

科目名	歴史学 I			ガイダンス日	4月5日(金)	前期
担当教員	醍醐 龍馬			募集人数	若干名	
開講時間	金曜7講	教室	401	受講料	9,200円	

1. 授業の目的・方法

本講義では、開国期から日露戦争までの日本政治外交史を扱います。幕末の異国船来航により明治維新が促進され、明治政府は対外危機の回避、及び不平等条約からの脱却を目指して新しい政治体制を形作ります。そして、近代国家への道を歩み条約改正を経て日清戦争に勝利し、アジアの覇権国へと成長します。そして、英露対立の国際情勢下で綱渡り外交を展開しながら、最終的にイギリスを同盟国に選択し日露戦争に勝利します。本授業は、こうした情勢下での外交と内政の相互作用に注目しながら、明治国家が「一等国」を目指し最終的に日露戦争へと進んでいく道筋を講義します。

2. 授業内容

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 諸列強の接近
- 第3回 幕藩体制の崩壊
- 第4回 維新政府の誕生
- 第5回 留守政府の近代化政策
- 第6回 明治六年政変と征韓論
- 第7回 大久保政権の政治と外交
- 第8回 明治憲法の制定
- 第9回 天津条約体制の成立
- 第10回 大津事件の激震
- 第11回 日清戦争と議会政治
- 第12回 条約改正の実現
- 第13回 列強による清国分割
- 第14回 日英同盟と日露開戦
- 第15回 ポーツマス講和会議

3. 履修上の注意

高校程度の日本史の知識を有することが望ましい。

4. 使用教材

教科書は特になし。各回冒頭にレジュメを配布します。

科目名	政治学 I		ガイダンス日	-		夏学期
担当教員	大場 崇代		募集人数	3名		
開講日程	8月16日~23日	教室	211	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法			8. 民主政治の理念と現実			
政治学の第一歩として行う講義である。「世界最古の学問」と言われる政治学の歴史や基本的な知識を幅広く概観し今後の学習の土台を形成しようとするものである。			①議会の機能			
本科目の履修を通して獲得が期待される能力は以下の通りである。			②行政府			
・政治学に関する基礎的な知識や理論を理解し、自分の言葉で説明できる。			③代表制と選挙制度 i			
・大衆社会における政治の現状の問題点を指摘できる。			④ ii			
2. 授業内容			⑤政党と利益集団 i			
1. ガイダンス			⑥ ii			
2. 「政治」とは何か			⑦マス・メディアと政治 i			
3. 「権力」とは何か			⑧ ii			
4. 「国家」とは何か						
5. 民主政治の歴史 ①イギリス i						
6. ②イギリス ii						
7. ③日本						
			3. 履修上の注意			
			小テストは予告なく行う。			
			4. 使用教材			
			山本佐門 『現代国家と民主政治 改訂版』（北樹出版）			

科目名	国際市場論		ガイダンス日	-		夏学期
担当教員	菅原 秀幸		募集人数	若干名		
開講日程	8月16日~23日	教室	301	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法			2. 授業内容			
市場が国境を越えてグローバルに拡大する今日、リアルな世界とデジタルの世界で起こっているビジネス現象を理解し、理論的にどのようにとらえることができるかを検討したうえで、私たちの生活をより豊かにするためにはどのような思考が必要になるかについて議論することが本講義の目的である。			(1) 日本企業による海外進出による市場の拡大			
一方通行型の講義でなく、参加者全員のインタラクションを重視し、双方向型の講義をおこない、思考力を錬磨するために、ティーチングに加えてコーチングを活用する。事例の分析を通して「脳みそに汗をかく」ことで、学問の楽しさと有用性を体得する。			(2) 外国企業の日本への進出による新しい市場の創造			
			(3) 国際市場拡大の変遷			
			(4) 国際市場の体制			
			(5) デジタル世界での市場の拡大			
			3. 履修上の注意			
			4. 使用教材			
			講義時に配布する。			

科目名	経済法		ガイダンス日	-		夏学期
担当教員	姜 連甲		募集人数	制限なし		
開講日程	8月24日～31日	教室	413	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法			2. 授業内容			
<p>「経済法」と呼ばれる法分野は、経済活動を規律する法規の総称である。その中心的な位置を占めるのは、経済憲法とも呼ばれる「独占禁止法（正式名称は「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）」である。</p> <p>近年、市場における「競争」の重要性が強く意識され、総事業費9兆円を超えるとされるリニア新幹線の工事を巡る談合事件など、企業の独占禁止法違反事件に関する報道をよく目にするようになってきている。また、独占禁止法は企業間取引のみに関わる法律ではない。市場の独占や価格操作（カルテル）といった違法行為から、より安い商品やより良い商品を選ぶ権利を守ってくれるという、われわれの日常生活とも緊密な関係のある法律でもある。複数回にわたる独占禁止法改正により、独占禁止法の規制が強化され、その内容及び運用に対する関心も高まりつつある。</p> <p>他方で、視野を更に広げると、同じ東アジアに位置しながらも中国や台湾の独占禁止法は、構成や運用において日本と大きく異なる点があることから、同法はそれぞれの国々の国情や政府方針を色濃く反映する法律でもあるという特徴が見えてくる。</p> <p>本講義は、体系的授業構成や事例の勉強を通じて日本の経済法（独占禁止法）の基本的な枠組みと考え方を身に付けることを基本としつつ、東アジア諸国との比較を通じて独占禁止法は国家の経済政策を反映した法典であることを理解することを目的とします。</p> <p>独占禁止法は、経済活動をあまねく規律する法律であるため、一般的・抽象的な条文で成り立っている。そこで条文の意義や運用の実態を知るには、裁判所の判決や公正取引委員会の審決を検討しなければならない。また、公正取引委員会は実務における運用ルールを明らかにするために、特定の分野に対する同法の運用指針（ガイドライン）を数多く公表しているため、これらを読み解くことも必要になる。本講義の「導入と総論」では、まず日本の独占禁止法の由来や沿革から同法の歴史を学び、次いで同法の理解に欠かせない全体の構成や基本概念等を学ぶ。その後の各論では、規制類型ごとに具体的な法運用を検討する。基本的に教材や配布資料に沿って講義を進める。</p> <p>また、本講義の終盤段階で中国と台湾の独占禁止法の体系や特徴について学び、日本の独占禁止法との共通点・相違点の比較を通じて、独占禁止法に対する理解を深める。</p>			<p>【総論】</p> <p>第1回 独占禁止法の規制体系と基本概念</p> <p>【各論】</p> <p>第2回 私的独占の禁止（1）：不公正な取引方法との関係</p> <p>第3回 私的独占の禁止（2）：基本概念と違法要件の解説</p> <p>第4回 私的独占の禁止（3）：排除行為と事例</p> <p>第5回 私的独占の禁止（4）：支配行為と事例</p> <p>第6回 カルテルの規制（1）（基本概念と違法要件の解説）</p> <p>第7回 カルテルの規制（2）（価格・数量・販路・市場分割カルテルと事例）</p> <p>第8回 カルテルの規制（3）（入札談合と事例）</p> <p>第9回 不公正な取引方法の規制（1）（基本概念と違法要件の解説）</p> <p>第10回 不公正な取引方法の規制（2）（行為類型と事例）</p> <p>第11回 不公正な取引方法の規制（3）（行為類型と事例）</p> <p>第12回 不公正な取引方法の規制（4）（行為類型と事例）</p> <p>第13回 事業者団体の行動規制</p> <p>第14回 結合・集中の規制</p> <p>【総括】</p> <p>第15回 全体のまとめ</p>			
			3. 履修上の注意			
			<p>(1) 受講の際には、教材だけでなく、六法も持参すること。ただし、用意できない場合は、独占禁止法の条文コピーでも良い。</p> <p>(2) 期末試験では、六法の持ち込みは認める。</p> <p>(3) 講義中の遅刻や私語は学習態度の評価に良くない影響を及ぼすため、各自に注意すること。また、講義中、討論への積極的な参加は良い成績評価に繋がる。</p>			
			4. 使用教材			
			<p>教科書：岸井大太郎、大槻文俊、和田健夫、川島富士雄、向田直範、稗貫俊文/著『経済法—独占禁止法と競争政策 [第8版]』（2016）。</p> <p>その他の参考文献：外国法に関する資料は配布する。</p>			

科目名	現代企業管理論 I		ガイダンス日	-	夏学期
担当教員	古澤 和行		募集人数	若干名	
開講日程	8月24日～31日	教室	307	受講料	
1. 授業の目的・方法					
<p>本授業の目的は現代企業が直面する課題を理解し、その課題をどのように対処すればよいのかについての管理方法や手法、理論について学習することである。現代企業が直面する課題には様々なものがあるが、本授業が焦点を当てるのは「環境」と「組織」である。環境には地球温暖化といった自然環境の変化だけでなく、各国政府の政策や法律、文化、さらには取引先や競合他社の動向、顧客の志向性なども含まれる。また、組織には個人とは異なるメカニズムが働くため、どのようにリーダーシップを取ればよいのかということや、モチベーションの管理等の視点も重要になってくる。これらの事柄を学習する方法は、パワーポイントにて作成したスライドを投影しながら、講義形式で説明することを基本とし、必要に応じて学生同士のディスカッションや学生と教員による双方向のやりとりを実施するという方法をとる。</p> <p>本科目の履修を通して獲得が期待される能力・技能は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代企業管理論に関する基礎的な理論を理解することができる。 ・現代企業管理論の観点から、現代企業の実践について批判的に検討できる。 			<p>5. 現代企業の構造とプロセス：organizing と organized の関係について学習する</p> <p>6. 動機づけと組織：組織メンバーの動機づけについて学習する</p> <p>7. コンティンジェンシー理論を超えて：状況適合理論を学習した上で、現代企業に求められる組織構造について学習する</p> <p>8. 組織における防衛的学習：アージリスのモデル I とモデル II の考え方について学習する</p> <p>9. 組織におけるルーティンの役割：ルーティンの定義および形成について学習する</p> <p>10. 組織学習とイノベーション：組織学習とイノベーションの関係について学習した上で、スモールウィンの役割を明らかにする</p> <p>11. 組織と学習不安：学習不安の定義およびその克服について学習する</p> <p>12. 組織学習におけるアーティファクトの役割：アーティファクトの定義、および、アーティファクトの役割について学習する</p> <p>13. 学習する組織：因果関係の連鎖と連鎖のつながりによる逸脱と収束の違いについて学習する</p> <p>14. 組織間関係：資源依存論について学習する</p> <p>15. まとめ：これまで学習した内容をまとめる</p>		
2. 授業内容			3. 履修上の注意		
<p>授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：講義全体の内容の流れについて説明する 2. 組織とは：組織の定義、構成要素、成立要件について学習する 3. 現代企業の管理と組織：管理過程論を中心に組織マネジメントについて学習する 4. 官僚制と組織：ウェーバーの官僚制について学習し、そこでの組織観について学習する 			<p>4. 使用教材</p> <p>スライドを用いて授業を行う。必要に応じ適宜指示する。</p>		

科目名	言語学	ガイダンス日	-	夏学期	
担当教員	山田 久就	募集人数	若干名		
開講日程	9月2日～9日	教室	BL2		受講料
1. 授業の目的・方法 【目的】 ・人間のことば（言語）を研究する学問を言語学と呼びます。言語学には広範な研究分野がありますが、言語学の基本であり、最も研究が盛んな分野は文法研究です。文法研究では、個別の言語の文法とともに、世界の諸言語の文法における多様性と一般性・普遍性が研究の対象になります。文法研究の各分野における研究対象（どのようなことに関心を持たれるのか）と研究方法（どのように研究するのか）について学びます。 【方法】 ・コンピュータ画面をスクリーンに投射して授業を進めます。		3. 履修上の注意 ・より具体的な情報を下記のサイトに載せているので参考にしてください。 http://www.otaru-uc.ac.jp/~hisanari/g/linguistics （学内からのみアクセス可） ・基本的には、メールでの問い合わせには対応しません。			
2. 授業内容 ・世界の言語 ・音声学と音韻論（音についての研究） ・形態論（語のしくみについての研究） ・統語論（文のしくみについての研究）		4. 使用教材 ・基本的には、コンピュータ画面をスクリーンに投射したものを主教材とします。 ・また、下記のサイトに pdf ファイル（A4 で 40～45 枚分ぐらいを予定）を置きます。スマートフォンなどで見るか、プリントして持ってくるかしてください。授業ではプリントの配布は行いません。 http://www.otaru-uc.ac.jp/~hisanari/g/linguistics （学内からのみアクセス可） 同じファイルを manaba にも置きます。			

科目名	心理学Ⅱ	ガイダンス日	9月30日(月)	後期	
担当教員	杉山 成	募集人数	10名		
開講時間	月曜6講	教室	407		受講料
1. 授業の目的・方法 基礎科目では、心理学を初めて学ぶ学生のために、基本的な理論や概念の解説を行います。心理学Ⅱでは、パーソナリティ心理学・発達心理学の領域を中心に、考え方や行動の個人差と心理的適応の関連について解説します。基本的に講義形式で進めますが、必要に応じて心理テストの実習やグループワーク等も行う予定です。		3. 履修上の注意 ・受講マナーについて ・基本的な受講マナー（遅刻をしない、私語をしない、教室内を歩き回らない、携帯電話を使用しないなど）を守れない学生の受講は禁じます。			
2. 授業内容 1. オリエンテーション 2. パーソナリティの理論：自分を知ること・類型論と特性論 3. パーソナリティの測定：心理テストの形式と要件・テスト実習 4. 人間関係の発展：対人魅力・人間関係の段階モデル 5. コミュニケーション：積極的傾聴の方法・対人葛藤の解決 6. メンタルヘルス：ストレスのコントロール・精神疾患の理解 7. ライフサイクルと適応：ライフサイクル理論・キャリア発達		4. 使用教材 教科書は使用せず、適宜参考文献を紹介します。また、資料プリントを配布します。			

科目名	社会思想史Ⅱ		ガイダンス日	9月30日(月)	後期
担当教員	西永 亮		募集人数	若干名	
開講時間	月曜6講	教室	211	受講料	
1. 授業の目的・方法			Ⅱ 多文化主義の諸相——第2次世界大戦後の文明と文化		
<p>本講義は、「文明 civilization」と「文化 culture」(英), Kultur (独)の対立というドイツ思想に特有の認識枠組みを軸に、20世紀の社会思想的展開を概観します。</p> <p>20世紀の西洋において「文明」と「文化」は、実際の社会問題と関連しながら、ときには相互に対立しあう概念として、またときにはほぼ同義の概念として発展してきました。講義では、両者の対立に重点をおき、重要な思想家を何人か取りあげながら、両概念がどのような社会的意味を担ってきたのかを解説します。それを通じて、21世紀における「文明」と「文化」の意義を批判的に分析する力を養います。</p> <p>授業方法は、配布資料と板書にもとづいた講義形式になります。また、映像資料として『映像の世紀』(NHK・米ABC)を用います。</p>			<p>Ⅱ-1 解放の原理としてのナショナリズム—— バーリン</p> <p>Ⅱ-2 ケベック問題をめぐる承認と差異の政治—— Ch. テイラー</p> <p>Ⅱ-3 移民問題における憲法愛国主義—— ハーバーマス</p>		
2. 授業内容			3. 履修上の注意		
はじめに——E. フロム『自由からの逃走』			配布資料、板書、映像資料、および講義を素材にして自分のノートをつくること。思考は与えられるのではなく自ら主体的になされるものです。		
<p>I 文明の崩壊——20世紀の幕開け</p> <p>I-1 ホブズボームの20世紀論—— 2つの世界戦争とロシア革命</p> <p>I-2 文化戦争としての第1次世界大戦—— ジンメルとTh. マン</p> <p>I-3 文化革命としてのロシア革命—— ルカーチ</p> <p>I-4 啓蒙の弁証法とナチズム—— ホルクハイマー、アドルノ、エリアス</p>			4. 使用教材		
			プリントを配付します。参考文献は適宜紹介します。		

科目名	情報と職業		ガイダンス日	9月30日(月)	後期
担当教員	中山 由之		募集人数	若干名	
開講時間	月曜6講	教室	(情)第3	受講料	
1. 授業の目的・方法			第10回 空飛ぶクルマ、FotoSketcher Portable ＜情報技術者プレゼンの発表と相互評価＞		
本授業は、Information and Communication Technology、すなわちICTの進展に伴う産業構造や就業構造の変化、情報通信業に携わる職業人の在り方などについて学び、今後のICT産業の方向性についての考察を目標とする。			第11回 情報技術者の役割、GIMP Portable ＜情報技術者プレゼンの発表と相互評価＞		
本授業の履修を通して獲得が期待される能力・技能は以下のとおりである。			第12回 情報技術者としての心構え、Audacity Portable ＜情報技術者プレゼンの発表と相互評価＞		
・情報通信業、情報処理技術者に関する知識を深化することができる。			第13回 情報技術者の義務と責任、VLC Media Player Portable ＜情報技術者プレゼンの発表と相互評価＞		
2. 授業内容			第14回 ICT社会の問題点、7-Zip Portable ＜情報技術者プレゼンの発表と相互評価＞		
第1回 オリエンテーション、学内LAN、manabaの使用、TypeFaster Portable PortableApps.comの紹介、使用するパソコンの設定			第15回 近未来：ICT社会、情報通信業の予想 ＜情報技術者プレゼンの修正及、提出＞		
以下の＜＞は、授業で同時進行するプレゼンの作成、発表、相互評価について			3. 履修上の注意		
第2回 東京証券取引所第一部「情報・通信業」、授業ノートの作成 ＜LibreOfficePortable(ファイルの種類と拡張子)、＞			・本授業では情報総合センターのパソコンを使用するので、事前に学内LAN、manabaのID及びパスワードを確認しておくこと。		
第3回 東証上場会社情報サービス、情報通信業の業種 ＜各種情報通信業のプレゼンについて、プレゼン作成手順の説明＞			・本授業の出席確認の方法は、manabaレポートに「授業ノート」を提出することである。		
第4回 情報通信業と情報技術、Opera Portable Edition ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			4. 使用教材		
第5回 OS、アプリ、個人情報及びビッグデータ、MuseScore Portable ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			【参考書】 伏見正則他著『情報産業と社会』（実教出版）		
第6回 システム、データのバックアップ、PDFTK Builder Portable ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			【参考資料】 「中学校学習指導要領」（平成20年3月・文部科学省） ＜ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/newcs/youryou/chu/_icsFiles/afieldfile/2010/12/16/121504.pdf ＞		
第7回 Key Competencies (DeSoGo)、VLC Media Player Portable ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			「高等学校学習指導要領」（平成21年3月・文部科学省） ＜ http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/30/1304427_002.pdf ＞		
第8回 情報技術者の職種、各種情報技術者のプレゼンについて ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			5. 備考		
第9回 情報通信業とAI、UNetbootin Portable ＜情報通信業プレゼンの発表と相互評価＞			・本授業では、USBメモリとイヤホンが必要である。（パソコンの使用（「インターネットの検索」及び「ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使用」ができること。USBメモリ（4GB以上）及びイヤホンを準備できること。）		

科目名	管理会計概論			ガイダンス日	9月30日(月)	後期
担当教員	堺 昌彦			募集人数	若干名	
開講時間	月曜7講	教室	406	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 管理会計は、組織の経営管理者に対し管理や意思決定にあたって有用な情報を提供する会計である。このような会計は様々な局面で用いられるが、本科目では、企業が策定した戦略の実行とその評価における会計に焦点を当てる。 本科目では、戦略の実行・評価における基本的な会計知識と技法の習得を目指す。				3. 履修上の注意 4. 使用教材 特定のテキストは使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
2. 授業内容 本科目では、レクチャー、演習、課題を通して主として以下の事項を取り扱う (1) 初歩的な戦略策定・分析 (2) 初歩的な財務諸表読解・分析 (3) 戦略実行の仕組み (4) 戦略実行システムとしての予算管理・BSC (5) 投資意思決定の基礎						

科目名	ドイツ語 I-2			ガイダンス日	-	後期
担当教員	副島 美由紀、杉浦 康則			募集人数	若干名	
開講時間	火曜6講 木曜7講	教室	火曜：BL3 木曜：174	受講料	13,200円	
1. 授業の目的・方法 ドイツ語 I-1 に続き、ドイツ語の基礎的な力を身に着けることを目的とします。 ドイツ語 I-2 は、前期の教科書の後半部分を使い、週2回(火・木)の授業を行いません。前期と同じく、聞き取りや読解の練習も織り込みながら、総合的なドイツ語力の向上を目指します。前期同様、積極的に授業に参加して下さい。前期に比べると文法項目の難易度は増しますが、ドイツ語で話せることが増えてくるので、楽しさも増します。後期もまた、ドイツ語を積極的に楽しく勉強していきましょう				3. 履修上の注意 火曜と木曜の授業は連動しており、2単位は一括して出ますから各曜日もれなく出席すること。欠席した場合は必ず情報収集し、遅れを挽回して下さい。 尚、ドイツ語 I-2 はドイツ語 I-1 を修得済みでなければ履修できません。		
2. 授業内容 1-4週：【現在完了】【副文】【過去形】 5-8週：【受動態】【zu不定詞】 9-12週：【形容詞】【再帰代名詞】 13-15週：【関係代名詞】【接続法Ⅱ式】など				4. 使用教材 『シュトラッセ・ノイ Ver. 3.0』(新野守弘他著、朝日出版社、2,400円)		

科目名	フランス語 I-2		ガイダンス日	-	後期
担当教員	村山 紀明、尾形 弘人		募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講 木曜 7 講	教室	火曜：407 木曜：BL2	受講料	
1. 授業の目的・方法 フランス語の基礎的な運用能力（話す、聞く、読む、書く）の養成を目指します。口、耳、目、手を総動員して練習に取り組んでください。大いに間違いを繰り返しながら、少しずつ着実に定着させていきましょう。皆でわいわいやりながら、しかしポイントでは集中して、フランス語という新しい世界を楽しみましょう。			3. 履修上の注意 辞書については追って指示する。		
2. 授業内容 各課のテーマは下のとおりです。 1 課：フランコフォニー（世界の中のフランス語） 2 課：代名動詞、複合過去（～した、～したことがある） 3 課：半過去（～だった、～していた、～したものだった）、数量表現 4 課：未来形、天気・気候の表現 5 課：現在分詞、曜日名・月名 6 課：条件法（英語の仮定法） 7 課：受動態、強調構文、時刻の表し方 8 課：代名動詞の複合過去、形容詞の変化 9 課：比較表現、否定表現 10 課：フランス語検定 4 級受験のために（傾向と対策） 11 課：関係代名詞 12 課：関係代名詞			4. 使用教材 太原孝英他著『新ケンとジュリー 2』、駿河台出版社		

科目名	中国語 I-2		ガイダンス日	-	後期
担当教員	章 天明、加藤 眞司		募集人数	若干名	
開講時間	火曜 6 講 木曜 7 講	教室	火曜：BL1 木曜：BL1	受講料	
1. 授業の目的・方法			3. 履修上の注意		
<p>【加藤】 中国語 I-1 で習得した中国語の基礎を踏まえて、中国語の能力（話す（やり取り、表現）力・聞く力・読む力・書く力）の更なる向上を目指します。日常生活の様々なシーンで必要とされる会話表現が身につくよう、繰り返し練習します。前期よりやや長い会話や複雑な語法に取り組みます。引き続き、受講者が授業に積極的に参加できるように、会話練習では学生同士でペアを組み練習を繰り返します。また、中国語を楽しく学び理解を深めるために、中国文化などについて触れながら授業を進めていきます。</p> <p>【章】 中国語 I-1 で得た基礎の上に立ち、語彙と基本文法を引き続き学び、練習問題及びペアワークなどで繰り返し訓練します。更に多くの常用度の高い基本語彙および基本文型覚え、教科書の会話文に出てきた会話表現を中心に口慣らしをして、ナチュラルスピードの会話も取り入れながら、表現力を身に付けるようにします。</p>			<p>4. 使用教材</p> <p>【加藤】 ① 『入門中国語—開開心心学漢語』上原徳子・張 廣慧・関 黎明（同学社、2300 円＋税） ② 適宜プリントを配布</p> <p>【章】 『中国語精選サラダ』劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記（朝日出版社）及びプリント</p> <p>5. 備考</p> <p>学生へのメッセージ： 【加藤】積極的に（授業中は大きな声を出す！など）授業に参加して下さい。中国語そして中国文化を楽しく学びましょう！ 【章】予習と復習をしっかりと、授業中は楽しく学びましょう。</p>		
2. 授業内容					
<p>【加藤】 教科書の問題に取り組みながら、日常生活の様々なシーンで必要とされる会話表現を学習します。会話がやや長く、語法も少し複雑になりますが、使える語彙や表現が増えるよう、練習を繰り返します。また、中国語の発音についてもより正確な発音ができるよう、練習を繰り返します。主な学習項目は下記の通りです。 疑問視、連動文、補語（様態・程度・結果・方向・可能）、「是……的」文、助動詞、副詞、時間詞、介詞、慣用句</p> <p>【章】 発音訓練を繰り返し、もっと綺麗な中国語の発音ができるように十分練習します。さらに多くの語彙、やや複雑な基本文型を学び、「会話」、「トレーニング」、「リスニング」、及び「書取りテスト」、「口頭試験」などを用いて、より実用的な会話と文章を勉強します。</p>					

科目名	知的財産法			ガイダンス日	10月1日(火)	後期
担当教員	才原 慶道			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜6講	教室	172AL	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 いわゆる知的財産法のうち、著作権法を取り上げます（他の知的財産法についても、必要に応じて言及することがあります。）。 この授業の目的は、著作権法の概要を知ることによって、小説、音楽、絵画、映画、コンピューター・プログラムなどの、それ自体は物理的実体を有するわけではない、著作物が、どのように保護されているのかを理解することです。 受講者との対話を通じながら、授業を進めていきますので、受講者は、適宜、発言を求められることになります。				3. 履修上の注意 オリエンテーションを含め、毎回、出欠をとります（出席者は出席票に署名してください。出席票への代筆は禁じます。もし代筆が判明した場合は、代筆を頼んだ人も代筆をした人も、出席点は0点として成績評価します。）。 授業には、上記『有斐閣ストウディア 知的財産法Ⅱ 著作権法』を持参してください。また、著作権法等の条文を授業中に随時参照することができるようにしておいてください。 試験では、六法を含め、一切持ち込みは認められませんので、注意してください。 やむを得ない事由により試験を受験することができない学生が、代替措置を求める場合は、教務課へ「定期試験欠席届」（通常の「欠席届」とは異なるものです。）を提出するという手続を必ず踏んでください。なお、各自、「定期試験欠席届取扱要項」（ちなみに、「平成30年度 履修の手引き 夜間主コース」では、245頁）を参照しておいてください。 いわゆる救済措置は一切執りません。 なお、成績評価に不服があるときは、「(4) 成績評価の内容確認、異議があった場合について」（ちなみに、「平成30年度 履修の手引き 夜間主コース」では、76頁）に記載された手続に従ってください。		
2. 授業内容 第1回 オリエンテーション 第2回 著作権制度の概要（1～16頁） 最判平成16年2月13日平成13年(受)第866号… ① 第3,4,5回 著作物（17～48頁） 最判平成13年6月28日平成11年(受)第922号… ② 知財高判平成27年4月14日平成26年(ネ)第10063号…③ 第6回 権利の主体（49～72頁） 第7,8,9回 著作権の効力と活用（73～110頁） 最判平成14年4月25日平成13年(受)第952号… ④ 最判平成13年10月25日平成12年(受)第798号… ⑤ 第10,11回 著作権の制限と消滅事由（111～148頁） 最判昭和55年3月28日昭和51年(オ)第923号… ⑥ 第12回 著作者人格権（149～167頁） 最判平成13年2月13日平成11年(受)第955号… ⑦ 第13,14,15回 著作権の侵害とその救済（195～232頁） 最判昭和63年3月15日昭和59年(オ)第1204号… ⑧ 括弧内の頁数は、下記『有斐閣ストウディア 知的財産法Ⅱ 著作権法』の該当頁を示しています。 また、特に取り上げることがを予定している判決を挙げています。ただし、新しい判決の登場など、必要に応じて追加・変更することがあります。 （上記はあくまでも目安です。授業の進度によって前後することがあります。）				4. 使用教材 駒田泰士＝潮海久雄＝山根崇邦「有斐閣ストウディア 知的財産法Ⅱ 著作権法」（2016年、有斐閣） ただし、開講までに改訂があれば、最新の版を使用します。		

科目名	計画科学			ガイダンス日	10月1日(火)	後期
担当教員	中村 隆志			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜6講	教室	301	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 確率過程論は、時間と共に変化していく偶然現象を扱うための数学モデルである。自然科学の分野はもとより、ORや社会科学の分野においても、待ち行列モデル、在庫モデル、信頼性理論、マーケティング、金融、医療システムなどその応用範囲は広い。この授業では、確率過程を中心とした確率モデルの初歩とその応用について講義する。授業の目的は、確率過程の基本概念や初歩的計算法を修得することである。				3. 履修上の注意 この授業ではベクトル・行列や微分・積分が頻りに登場する。計画数学等の他の授業でこれらの基礎を学んでいることが望ましいが、これらに必要な最低限の数学的基礎知識については、講義の中でも説明する。		
2. 授業内容 1) 確率の基礎と確率過程 2) マルコフ連鎖 <ul style="list-style-type: none"> ・推移確率 ・状態の分類 ・定常分布 ・吸収マルコフ連鎖 3) マルコフ過程 <ul style="list-style-type: none"> ・ポアソン過程 ・出生死滅過程 ・待ち行列モデル 				4. 使用教材 (教科書) 成田清正：「例題で学べる確率モデル」、共立出版		

科目名	数学Ⅱ			ガイダンス日	10月1日(火)	後期
担当教員	後藤 良彰			募集人数	若干名	
開講時間	火曜7講	教室	305	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 学問の様々な分野における基本的手法として、微分積分学は様々な分野で利用され応用されている必要不可欠な学問である。本科目では、積分法を中心に学習する。				3. 履修上の注意 本学の「数学Ⅰ」を受講していることを前提として講義を進める。(高等学校で「数学ⅢⅢ」(の微分法)を履修していれば問題ない。)高等学校で「数学ⅢⅢ」を履修していない1年生が履修を希望する場合、可能であれば、前期に昼間コースの「数学Ⅰ」を履修することを勧める。		
2. 授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・積分法(1変数) ・積分の応用 				4. 使用教材 教科書： 石村園子「やさしく学べる微分積分」共立出版 参考図書： 桑村雅隆「微分積分入門」裳華房		

科目名	商法 I			ガイダンス日	10月1日(火)	後期
担当教員	高橋 周史			募集人数	制限なし	
開講時間	火曜 7 講	教室	211	受講料	9,200 円	
1. 授業の目的・方法 商法 I の授業は、会社の経営や経済活動を理解するために重要な会社法について、基本的な知識を提供する目的で行う。この授業の対象とする受講者は、主に学部 2 年次に在籍する学生であって、会社法を始めて勉強する者を想定している。多くの受講者にとって、会社法はなじみのない科目であり、基礎的な用語や条文の読み方等になれるまでに時間がかかることが予想される。会社法の授業では、図表やプリントを利用しながら、基本的な用語や概念について、なるべくわかりやすく丁寧に講義していく予定である。また、説明の中で参照される会社法の条文を丁寧に解説して、受講者が自力で条文を読解することができるように講義を行っていく。授業全体としては、受講者が、会社法の基本的な知識を習得して、会社法の大まかなイメージをつかむことができることを目標とする。 授業は、指定教科書および担当教員の作成したプリントを用いて行う。各回に配布されるプリントは、重要語句の穴埋めや基礎的な定義の記入など、ワークシート方式になっており、また、各回の末尾に確認問題を付している。受講者には、授業の内容を注意深く聴いてしっかりと理解すること、予習と復習の際に、指定された教科書をよく読むことが要求される。 なお、会社法を理解するためには、法学の入門的な知識（法解釈や裁判判の読み方など）が必要となるため、授業の最初の数回を法学入門の講義にあてることを予定している。				第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 法学の基礎—民事法と会社法入門 第 3 回 会社の全体像 第 4 回 会社の設立① 第 5 回 会社の設立② 第 6 回 株主と株式 第 7 回 株式の譲渡 第 8 回 会社の機関① 第 9 回 会社の機関② 第 10 回 役員の義務と責任追及① 第 11 回 役員の義務と責任追及② 第 12 回 会社の会計と資金調達① 第 13 回 会社の会計と資金調達② 第 14 回 会社の組織再編① 第 15 回 会社の組織再編②		
2. 授業内容 商法 I の授業は、会社法の学習経験のない受講者を想定している。半期の授業を通して、受講者が会社法の大まかなイメージを捉えることができるように、一般的な教科書の内容に沿って、会社法の単元全体を 15 回で概説する。細かい知識や例外的な事柄を詳細に講義することよりも、制度の概要を大まかにイメージできるような授業を展開する。また、会社法の理解に必要な範囲で、経済や金融と会社法の関係や、法律の解釈の方法、裁判例の読み方などのテーマについても説明をする。 15 回の授業の構成は、次のような内容を予定している。受講者の関心や理解度に応じて、授業の単元構成を変更することがある。				3. 履修上の注意 授業の進行を妨げるようなマナー違反の行為（大声の私語や授業中の通話等）は厳禁する。オフィスアワー等については、オリエンテーションの時に、プリントに記載して指示する。		
4. 使用教材 中東正文＝白井正和＝北川徹＝福島洋尚『会社法』（有斐閣、2015）						

科目名	化学Ⅱ			ガイダンス日	10月2日(水)	後期
担当教員	沼田 ゆかり			募集人数	若干名	
開講時間	水曜6講	教室	308	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法 我々が日常使う食品、衣料品、電化製品はもとより、地球、生き物、そして我々自身、あらゆるものは物質でできており、化学は生活を支える役割を果たしている。このため、化学に関する正しい知識は理系・文系を問わず、すべての人に必要である。本授業では化学Ⅰに引き続き、化学の基礎を平易に解説する。必要に応じてパワーポイントを活用して説明を行う。</p> <p>本科目の履修を通して、獲得が期待される能力・技能は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質や生命活動を支える物質について化学の観点から説明できる。 ・生活の中の有機物質について説明できる。 <p>2. 授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 簡単な有機化合物① (有機化合物とは・炭化水素) 3. 簡単な有機化合物② (異性体) 4. 簡単な有機化合物③ (酸素、窒素、ハロゲンを含む有機化合物・複素環式化合物) 5. 生体を構成する物質① (糖類) 6. 生体を構成する物質② (糖類) 7. 生体を構成する物質③ (アミノ酸) 8. 生体を構成する物質④ (タンパク質) 9. 生体を構成する物質⑤ (脂質) 10. 生体を構成する物質⑥ (核酸) 11. 生命を支える物質① (酵素) 12. 生命を支える物質② (生体内でのエネルギー生産—物質代謝—) 13. 生命を支える物質③ (生体内でのエネルギー生産—物質代謝—・核酸と遺伝情報) 14. 生命を支える物質④ (核酸と遺伝情報) 15. 生活の中の有機物質 (合成高分子化合物) 	<p>3. 履修上の注意 化学の知識を学ぶと同時に、科学的なものの考え方である「筋道を立てて考える論理的な思考」も習得できるよう、心がけること。</p> <p>化学は知識の積み重ねが必要な学問である。初学者が授業内容を理解するためには、高校で化学を学んだ人よりもある程度の努力が必要であることに注意すること。</p> <p>4. 使用教材 「新版 教養の現代化学(第2版)」 多賀光彦・他(三共出版)</p>
--	--

科目名	言語文化論		ガイダンス日	10月2日(水)	後期
担当教員	尾形 弘人、石井 登、高橋 優季、 高野 寿子、鈴木 将史		募集人数	若干名	
開講時間	水曜6講	教室	BL2	受講料	
1. 授業の目的・方法 ・コミュニケーションの道具である言語とその背景にある文化について勉強します。現代の国際化と情報化の急速な発展は、全く異質な文化を持った個人や集団が交流・接触する機会を飛躍的に増大させ、その結果、相互の理解や合意の形成が、これまで以上に複雑かつ困難なものとなってきています。このような状況の中で、世界のさまざまな言語と文化について理解を深めていくことは、大変重要な課題となっています。			3. 履修上の注意 全Unitで試験を受けることと、2/3以上の出席が、単位認定の前提条件となります。		
2. 授業内容 この授業では、複数の教員が様々な言語と文化について講義しますが、教員の話を受動的に聞いているだけではいけません。皆さん自身がグローバル化する社会に関心を持ち、錯綜する膨大な情報を複数の視点から読み解く必要があります。教員の用意する教材や課題にとどまらず、情報化社会のツールをフル活用し、興味のある問題を自分自身でさらに掘り下げるよう努めてください。			4. 使用教材 適宜プリント等を配布します。		
Unit1 ラテンアメリカ文学 言語の特徴と文化 (石井登、スペイン語担当、4回) Unit2 「あいうえお」から学ぶ日本語の音韻論 (高野寿子、日本語担当、4回) Unit3 動物たちと学ぶ英語と英文学 (高橋優季、英語担当、3回) unit4 グリム童話の世界 (鈴木将史、ドイツ語担当、3回) ※それぞれのUnitの授業の順番および回数に変更になる可能性があります。変更がある場合は、オリエンテーションでお知らせします。					

科目名	経営学原理			ガイダンス日	10月2日(水)	後期
担当教員	加藤 敬太			募集人数	若干名	
開講時間	水曜6講	教室	210	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法</p> <p>本授業は、経営学の基礎的知識を習得することを目指す。経営学は、主に企業を対象とした実践的な学問である。当然ながら、われわれは、企業と係わりなく生活することはできない。その意味において、経営学は、じつに身近な学問といえる。本授業では、経営学の初学者を対象にし、予備知識は前提とせず、初歩から基礎的知識の解説を行っていく。授業は、項目ごとの基本の解説を行ったうえで、パワーポイントを使用しながら、教科書の理解ならびに補足的解説、様々な事例の紹介などを行っていく。</p> <p>2. 授業内容</p> <p>授業内容は、第1回は全体を通じたオリエンテーションを行い、第2回目以降は教科書の各Chapterに対応している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション・イントロダクション 2 企業経営の全体像 3 経営学の全体像 4 株式会社の仕組み 5 日本の雇用制度の仕組み 6 競争戦略のマネジメントⅠ：基本的な考え方 7 競争戦略のマネジメントⅡ：違いを作る3つの基本戦略 8 多角化戦略のマネジメント 9 国際化のマネジメント 10 組織構造のマネジメント 11 モチベーションのマネジメント 12 キャリアデザイン 13 情報システムと事業の仕組み 14 経営学の広がり 15 総括 	<p>3. 履修上の注意</p> <p>新聞やニュース、自らの経験など、あらゆる場面において、経営学の観点から興味を持っていただきたい。なお、この授業は昼夜開講科目です。授業の運営の詳細に関して初回講義時に説明致します。受講希望者は必ず参加してください。</p> <p>4. 使用教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書： 加護野忠男・吉村典久編（2012）『1からの経営学〔第2版〕』中央経済社。 ・参考書： 榊原清則（2002）『経営学入門』（上・下）日経文庫。 伊丹敬之・加護野忠男（2003）『ゼミナール経営学入門』〔第3版〕日本経済新聞社。
--	---

科目名	会計学原理		ガイダンス日	10月2日(水)	後期
担当教員	坂柳 明		募集人数	若干名	
開講時間	水曜7講	教室	211	受講料	
1. 授業の目的・方法			3. 履修上の注意		
目的：現実社会との関係を意識して、財務会計分野の知識を習得し、財務会計分野の論点を題材にして思考力を養うこと。			簿記原理を履修済み等、簿記についての基本的な理解があることが、非常に望ましいです。		
2. 授業内容			4. 使用教材		
「使用教材」のところで指定した教科書中の、以下に示す内容のいくつかを取り上げて講義するが、その内容を補足する論点に触れることがある。			桜井久勝、須田一幸、『財務会計・入門』、授業開始前の最新版、有斐閣アルマ。を用いる。また、毎回の授業で、プリントを配布する。		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 会計の種類と役割 2. 財務会計のシステムと基本原則 3. 企業の設立と資金調達 4. 仕入・生産活動 5. 販売活動 6. 設備投資と研究開発 7. 資金の管理と運用 8. 国際活動 9. 税金と配当 10. 財務諸表の作成と公開 11. 企業集団の財務報告 12. 財務諸表による経営分析 					

科目名	哲学			ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	久保田 顕二			募集人数	若干名	
開講時間	木曜6講	教室	211	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法</p> <p>哲学の入門的な講義です。哲学は、他の学問とは違って、限定された固有の研究対象をもちませんので、特に初心者には、それがそもそも何を明らかにしようとする学問なのかがつかみにくい面があります。しかし、哲学の特徴として一つ確実に言えることは次のことです。すなわち、哲学は、私たちが日常生活や他の学問では、特に疑問視せずに「当たり前」なこととして受け入れている暗黙の前提を自覚的に取り出し、そして、その前提の妥当性を吟味したり、別の可能性を示唆したりする、ということです(ある意味、哲学とは非常に傲慢な学問です)。</p> <p>例えば自然科学の研究であれば、それは一般に、自然界の現象は究極的にはすべて「物質的な」ものであって、もっぱら物質の作用によって説明することが可能である、との前提に立って進められています(いかに不可思議な現象であっても、自然科学者は通常、それを必ず、自然法則に則って起こった物質の作用、として説明します)。しかし哲学の観点からは、この前提には疑問をさしはさむことが可能です。つまり、この前提は本当に成り立つのか、もしかしたら物質とは独立の「精神」なるものが存在するのではないか、といった問いを、合理的な仕方ですることができます。</p> <p>本講義では、哲学のこういった特徴を理解していただくことを第一の主眼にしながら、西洋哲学におけるさまざまな学説を紹介していきます。順序としては、まず、「自己自身」の存在を問うということが、とりわけ近代以降の哲学にとっては重要であることを確認し、次に、哲学の代表的な部門(形而上学や認識論)の中身を、大哲学者の主要な学説に沿って紹介していきます。プラトン、アリストテレス、デカルトといった大哲学者の考え方は、歴史的な流れの中でよりも、むしろ個々の哲学問題との関連で取り上げられます。</p> <p>この授業が目的とするところは次のことです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋哲学の歴史に現れたさまざまな学説についての基本的な知識と理解を得ること。 2. 「哲学」という学問が「科学」には還元されえず、ある点では「科学」と鋭く対立するということを知ると同時に、とかく科学万能と思われがちな現代の世にあって、「科学」ではない学問研究にも固有の意義がある、ということを理解すること。 	<p>2. 授業内容</p> <p>以下のそれぞれの項目について数回ずつを費やします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学とは何かー「科学」を超えた知的探究ー 2. 「私」自身が存在することへの問いかけーデカルト哲学とその発展ー 3. 心身問題ー「心」と「身体」とはいかなる仕方に関係しているのかー 4. 形而上学ー「物」と「心」とのどちらが究極的に存在するのかー 5. 認識論ー感覚によって知ることと、理性を使って推理することー <p>このほかに、以上のような全体の流れとはやや独立に、比較的現実味のある哲学問題を取り上げるかもしれません。いづれにせよ今年度は、自然界(外的世界)よりも、むしろ、「心」という内面世界を掘り下げることに力点を置きます。</p> <p>3. 履修上の注意</p> <p>さしあたり2つの注意事項を掲げておきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義の最中には、話されていることのポイントがどこにあるのかがよくわからない、という場面が間々あるかもしれません。しかし、哲学思想には、ポイントがわかってそれがしっくりと心の中におさまったときには、今までの物の見方が一変する(良い方向に)、という効果がある場合があります。したがって、多少難しく思えても、あわてたり性急に諦めたりせず、しばらくの間、辛抱して聴いてみるという姿勢をもっていただきたいと思います。 2. 多数の断片的な知識を身に付けようとするにより、むしろ、哲学説の思想的な内容を知的に理解したり、学説が否定されたり乗り越えられたりする際のダイナミズムをとらえたりすることのほうに、より大きな注意や関心を向けていただきたいと思います。 <p>4. 使用教材</p> <p>テキストは使用しませんが、授業の中で参考文献を随時紹介していきます。</p>
--	---

科目名	市場システム論Ⅱ		ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	鈴木 和宏		募集人数	若干名	
開講時間	木曜6講	教室	171AL	受講料	

<p>1. 授業の目的・方法 我々消費者は日々膨大な商品を消費しています。この背景には企業による売れる仕組みや仕掛け(マーケティング)が存在し、これらの企業活動を理解することは将来ビジネスパーソンとなる上で重要です。一方で、企業が特に消費財を扱う場合は消費者の行動、すなわち購買する商品をどのように決めているのか(消費者行動)を知ることも必須となるでしょう。</p> <p>そこで、授業では消費者行動論の基礎知識とそのマーケティングへの活用能力の養成・取得を目指します。また、授業ではマーケティングの基礎も扱います。消費者行動論とマーケティングの初学者でも分かる授業内容です。</p> <p>2. 授業内容 授業は講義と演習により進めます。講義ではテキストを用いて基礎理論の解説を行います。演習では課題を出しますのでその解答を担当者に発表してもらい、その後皆でディスカッションします。発表の際には発表資料を作成してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者行動とマーケティング ・ 消費者行動研究の系譜と今日的な消費者像 ・ 功利的な消費者 <ul style="list-style-type: none"> - 購買意思決定プロセスと情報処理モデル - 動機づけ、関与、情報探索、知識 - 知覚、評価、顧客満足 ・ 生活者としての消費者 <ul style="list-style-type: none"> - ライフスタイル ・ 他者と関わりを持つ消費者 <ul style="list-style-type: none"> - 普及理論、クチコミ ・ 快楽的な消費者 <ul style="list-style-type: none"> - 感情と消費者行動 - ブランドと消費者行動 <p>※多少変更する可能性があります</p>	<p>3. 履修上の注意 オリエンテーションにて授業の詳細をお話しします。できるだけ参加してください。また、授業では私語を慎んでください。</p> <p>4. 使用教材 青木幸弘・新倉貴士・佐々木壮太郎・松下光司(2012)『消費者行動論:マーケティングとブランド構築への応用』有斐閣アルマ</p> <p>※講義資料については別途資料を配布します</p>
--	---

科目名	簿記原理 (A)			ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	坂柳 明			募集人数	若干名	
開講時間	木曜6講	教室	210	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法 この授業では、営利活動を営む会社の事業活動の結果を計数的に把握する手段としての簿記を学習し、それを通じて、大学を卒業する社会人に求められる簿記の知識の修得を目指す。</p> <p>この授業では、練習問題を多く取り入れ、会計処理(仕訳処理)に慣れてもらう。また、この授業は、「財務会計論」等の会計系の科目を学習する上での基礎を提供する。</p> <p>2. 授業内容 この授業では、簿記についての必要な知識の修得に主眼を置くため、講義形式によって授業を行う。また、授業内容の理解の確認のために、授業中に、適宜練習問題の解答を受講生に尋ねる。</p> <p>この授業で扱う内容としては、以下のものを考えている。どの内容をどの程度掘り下げるかは、授業の進度による。なお、練習問題やそれに関連する議論を、ある程度網羅的に盛り込まざるを得ないため、この授業では、配布プリントが多くなる(1回あたり、A4で5~10枚)。</p> <p>(1): 簿記の必要性、(2): 仕訳、勘定、(3): 個別論点(現金、当座預金、手形取引、掛取引、商品売買取引、帳簿の締切、経過勘定、引当金、減価償却等)の解説、(4): 様々な帳簿、試算表と精算表、貸借対照表と損益計算書の解説</p>	<p>3. 履修上の注意 授業が難しい、あるいはやさしいと感じた人は、適宜、市販の簿記の問題集、参考書等で知識の補充、確認、先取り学習を行ってください。また、授業中の配布プリントは多くなることが予想されるため、プリントを読むのが面倒な人には、この授業は勧めません。</p> <p>また、この授業は、夜間主コースに所属する各学年の学生の、学生番号の下3桁が、030までの学生のみ履修できます。</p> <p>4. 使用教材 久野光朗編、『簿記論テキスト[新版]』, 同文館出版, 2007年。その他の文献は、授業で紹介する。</p>
--	---

科目名	簿記原理 (B)			ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	市原 啓善			募集人数	若干名	
開講時間	木曜6講	教室	160	受講料	9,200円	

<p>1. 授業の目的・方法</p> <p>企業において、企業間で日々行われる経済取引を、1つ1つ記録に残すことは、非常に重要な業務の1つになっています。企業活動を、帳簿に記録し、利害関係者に報告する一連の手続きを「簿記」と言います。簿記は、全ての企業において行われている業務であり、その情報は、財務諸表の作成、経営戦略の策定、経営意思決定、企業分析(企業価値評価)を行うのに活かされています。</p> <p>本科目の目的は、会計学を学習するための基礎知識の1つとなる簿記の考え方や仕組みを理解することです。</p> <p>本科目の履修を通して、日本商工会議所簿記検定試験3級の取得が可能となる知識(一部)の習得が可能です。また就職後においても、経営幹部業務、経理・財務管理業務、税理士、会計士、国税専門官、財務専門官、銀行業務検定、証券アナリスト、証券外務員、中小企業診断士など、広範な業務において必要不可欠となる知識の1つが習得可能です。さらに授業内では、実際行われている記帳業務の具体事例を紹介することで、簿記の実践力・即戦力の習得も目指します。</p> <p>2. 授業内容</p> <p>01 簿記の基礎(オリエンテーション)</p> <p>02 簿記一巡の手続き(1) 財務諸表</p> <p>03 簿記一巡の手続き(2) 仕訳、記帳</p> <p>04 商品売買(1) 仕入れ、売上げ</p> <p>05 商品売買(2) 諸掛り、返品、値引き、補助簿</p> <p>06 現金、当座預金</p> <p>07 当座借越、小口現金</p> <p>08 約束手形、裏書き、割引き</p> <p>09 その他の流動資産項目</p> <p>10 中間試験</p> <p>11 固定資産、有価証券</p> <p>12 伝票式会計</p> <p>13 試算表の作成</p> <p>14 決算整理(1) 精算表、売上原価の計算</p> <p>15 決算整理(2) 固定資産の減価償却</p> <p>* 上記の授業計画に沿って進める予定であるが、受講学生の習熟度により若干の変更もありうる。</p>	<p>3. 履修上の注意</p> <p>1. 本科目(簿記原理B)の履修可能者は、各年度の学生番号の下2桁が、31番以降の学生となります。</p> <p>2. 電卓を持参することが望ましい。定期試験では、スマートフォンの使用が認められないため、毎講義を電卓の練習の機会として御活用ください。</p> <p>4. 使用教材</p> <p>『基礎簿記会計 四訂版』五絃舎、2016年9月、2,200円(税別)、ISBN: 9784864340601</p>
---	--

科目名	コンピューターネットワーク論		ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	三谷 和史		募集人数	制限なし	
開講時間	木曜6講	教室	401	受講料	
1. 授業の目的・方法			3. 履修上の注意		
<p>インターネットで一躍有名となったコンピュータネットワークを、その基礎の部分から応用まで、なぜそうなっているのかという技術的視点から考えながら理解することを目的とする。さらに、この理解の基盤上で、コンピュータネットワークをどのように利用、維持、発展させていくべきかを自ら考える力を養う。</p> <p>本科目の履修を通じて獲得が期待される能力・技能は以下の通りである。</p> <p>・コンピュータネットワークを構成する技術の理解と利用に関する理解</p> <p>内容：通信の基礎からデータリンク、イーサネットに代表されるLAN、そしてIP、TCPといったネットワークプロトコル、経路制御やDNS等の基本的アプリケーション、WWW等の応用アプリケーション、セキュリティ等について解説を行なう。</p> <p>方法：講義によって行なう。</p>			<p>・技術的な内容についての事前の準備は特に求めない。インターネットの利用者として、社会的に話題となるようなネット関係の問題について、関心を持っていることが望ましい。</p> <p>4. 使用教材</p> <p>教科書は特に定めないが、参考書としては、村井純「インターネット (ISBN13: 9784004304166)」II (ISBN13: 9784004305712)」「インターネット新世代 (ISBN13:9784004312277)」(岩波新書) ジョン・M. ダヴィッドソン「はやわかりTCP/IP (ISBN13:9784320025622)」(共立出版) A・S・タネンバウム「コンピュータネットワーク第5版」(ISBN13: 9784822284763) (日経BP社) を挙げておく。</p> <p>講義には power point を使用する。Web page に講義のまとめを置く予定である。その他の参考図書については、この web page にて説明する。</p>		
2. 授業内容					
<p>講義の進み具合により多少の増減があるが、以下の予定である。</p> <p>イントロダクション、情報理論の基礎、デジタルとアナログ。</p> <p>符号理論の基礎、変調と多重化。</p> <p>通信の基礎、OSI と Ethernet。</p> <p>データリンク層 - BISYNC, HDLC, X. 25, ATM, PPP, PPPoE。</p> <p>Ethernet, IEEE802 詳細。</p> <p>Internet Protocol (IP)。</p> <p>経路制御。</p> <p>Transmission Control Protocol (TCP)。</p> <p>インターネットの歴史。</p> <p>DNS と応用アプリケーション。</p> <p>ネットワークセキュリティ。</p>					

科目名	社会保障法			ガイダンス日	10月3日(木)	後期
担当教員	片桐 由喜			募集人数	制限なし	
開講時間	木曜7講	教室	413	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法				3. 履修上の注意		
<p>日本は、少子高齢状態が深化する一方、経済低成長等、極めて厳しい財政状況にある。本講義は、そのような社会背景にある、わが国の社会保障制度の意義と基本的なしくみを理解することを目的とする。本科目の履修を通して獲得が期待される能力・技能は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度が、なぜ必要かを説明できる。 ・同制度の概要と役割を、自分の言葉で述べることができる。 				<p>社会保障各法が搭載されている六法を持参するか、あるいは、講義で取り扱う法律を事前にダウンロードして持参すること。</p>		
2. 授業内容				4. 使用教材		
第1章	社会保障総論			岩村正彦他編著『目で見る社会保障法教材 (第5版)』(有斐閣、2013年)。		
第2章	社会保険総論			参考文献は、各章ごとに紹介する。		
第3章	年金保険総論					
第4章	年金保険各論					
第5章	医療保険総論					
第6章	医療保険各論					
第7章	生活保護総論					
第8章	生活保護各論					
第9章	社会福祉総論					
第10章	高齢者福祉制度					
第11章	児童福祉制度					
第12章	障がい者福祉制度					
第13章	制度横断的考察					

科目名	国際法			ガイダンス日	10月4日(金)	後期
担当教員	張 博一			募集人数	制限なし	
開講時間	金曜6講	教室	172AL	受講料	9,200円	
1. 授業の目的・方法 国際社会にも国内社会と同様、「法」が存在するの か。存在するとすれば、武力紛争、領土問題など、 なぜ多くの国際問題が解決されないのか。国家と国 家の利益が対立した場合に、国際社会の「法」は無 力なのか。 国際法は国際社会の基本的枠組を定めており、国 際的な時事問題の多くはこの枠組と密接に関係す る。本講義は国際法規則の内容を把握し、その機能 と限界について理解を深めることを通して、上記の 問いについて受講者が各自に「解」を見つけること を目的とする。また、受講者の理解度を高めるため に、関連する国際的な時事問題や 国際判例を適宜 取り上げながら解説する。 授業は基本的にレジュメに沿って講義形式で行 うが、受講者数を見て、部分的に対話型を取り入れ ることがある。国際法初心者にも理解してもらえ るよう努めたい。国際法の知識はないが、日々ニュー スや新聞で報じられている国際問題に少しでも関 心のある方の履修を歓迎する。				第10講 個人 第11講 国際人権法 第12講 国際刑事法 第13講 国家責任法 第14講 国際紛争解決 第15講 武力行使の規制		
2. 授業内容 第1講 国際社会と国際法、国際法の歴史 第2講 国際法の主体：国家、個人、国際機構 第3講 国家管轄権 第4講 主権免除 第5講 国際法の法源：条約 第6講 国際法の法源：慣習法 第7講 国家領域 第8講 中間試験日 第9講 国際海洋法				3. 履修上の注意 4. 使用教材 教科書は指定しない。 授業の際には必ず、条約集(特に出版社は指定しな い)を持参すること。 参考文献： 松井芳郎他『国際法〔第5版〕』（有斐閣・2007） 酒井啓亘他『国際法』（有斐閣・2011） 浅田正彦編『国際法〔第2版〕』（東信堂・2013）		

科目名	社会情報入門		ガイダンス日	10月4日(金)	後期
担当教員	深田 秀美、三浦 克宜		募集人数	制限なし	
開講時間	金曜7講	教室	305	受講料	

<p>1. 授業の目的・方法 本授業は、社会情報学科の専門領域への導入として、情報科学に関する基礎知識や応用事例などについて解説し、専門領域をより深く学ぶ上での基礎作りを目的とする。</p> <p>前半(担当：三浦)では、情報通信技術(ICT)の活用に必要な基礎知識の習得を目指す。主にコンピュータの基礎知識、インターネット通信の仕組み、情報リテラシー、クラウドサービスの活用などの内容で講義を行う。</p> <p>後半(担当：深田)では、社会基盤としての情報システムに関して、いくつかの具体的な事例を紹介し、今後の情報社会で必要とされる社会情報システムを考察する視点を学ぶ。</p> <p>2. 授業内容</p> <p>●前半(担当：三浦)：ICT 活用のための基礎知識の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基礎（コンピュータの歴史，2進数表現と演算） ・インターネット通信の基礎（インターネットの必要性，安全な無線 LAN の利用） ・情報リテラシー（ウィルスの脅威，著作権問題，個人情報保護） ・クラウドサービスの活用（クラウドサービス誕生の背景，クラウドサービスの基礎，事例） <p>●後半(担当：深田)：社会と情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会基盤としての情報システム（情報システムの定義を含む） ・具体的な社会情報システムの事例： 経営情報システム，観光情報システム，災害情報システム等 ・AI（深層学習）や IoT の進展がもたらす情報社会など 	<p>3. 履修上の注意 履修を希望する学生は、第1回目(ガイダンス)に必ず出席して下さい。</p> <p>4. 使用教材 本授業では特に教科書を定めません。</p>
--	---

2019 年度 行事予定

【前期】

4月 2日(火)	入学式
4月 4日(木)	前期授業開始(夜間主コース)
4月 5日(金)	前期授業開始(昼間コース)
5月 6日(月)	通常通り月曜の授業を行う
5月 28日(火)	7講目は休講(学生大会のため)
6月 1日(土)	学生大会分の授業日及び補講日(7講目は火曜日授業)
6月 27日(木)	6・7講目は休講(大学祭のため)
6月 28日(金)	6・7講目は休講(大学祭のため)
7月 6日(土)	補講日
7月 7日(日)	創立記念日
7月 20日(土)	補講日
7月 26日(金)	大学祭分の授業日及び補講日(6・7講目は通常授業)
7月 30日(火)~8月 6日(火)	前期期末試験期間
8月 7日(水)~9月 29日(日)	夏季休業

【後期】

9月 30日(月)	後期授業開始
11月 4日(月)	通常通り月曜の授業
11月 16日(土)	補講日
12月 25日(水)~1月 6日(月)	冬季休業
1月 17日(月)	臨時休業(センター試験のため)
1月 28日(火)	月曜の授業日(火曜授業は行わない)
1月 29日(水)	補講日(水曜授業は行わない)
1月 30日(木)	補講日(木曜授業は行わない)
1月 31日(金)	通常授業
2月 3日(月)~10日(月)	後期期末試験期間

※行事予定に変更があった場合は、掲示でお知らせしますので、掲示には十分注意してください。

※一部授業が土曜日に行われますので、ご注意ください。

※「補講」とは担当教員の所用により休講となった科目について行う講義を指します。補講を行う科目については、別途掲示により通知します。

◆◇公開授業の受講にあたっての注意とお願い◇◆

① 受講生の呼び出し等

授業中その他、受講生の呼び出し等には、対応できかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切り下さい。

② 受講生の義務

受講生は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障が及ぶことがないように努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従って下さい。

③ 受講の停止

受講生が義務に違反し、本学秩序を乱し、又は受講生としてふさわしくない言動があった場合には、受講を停止することもあります。

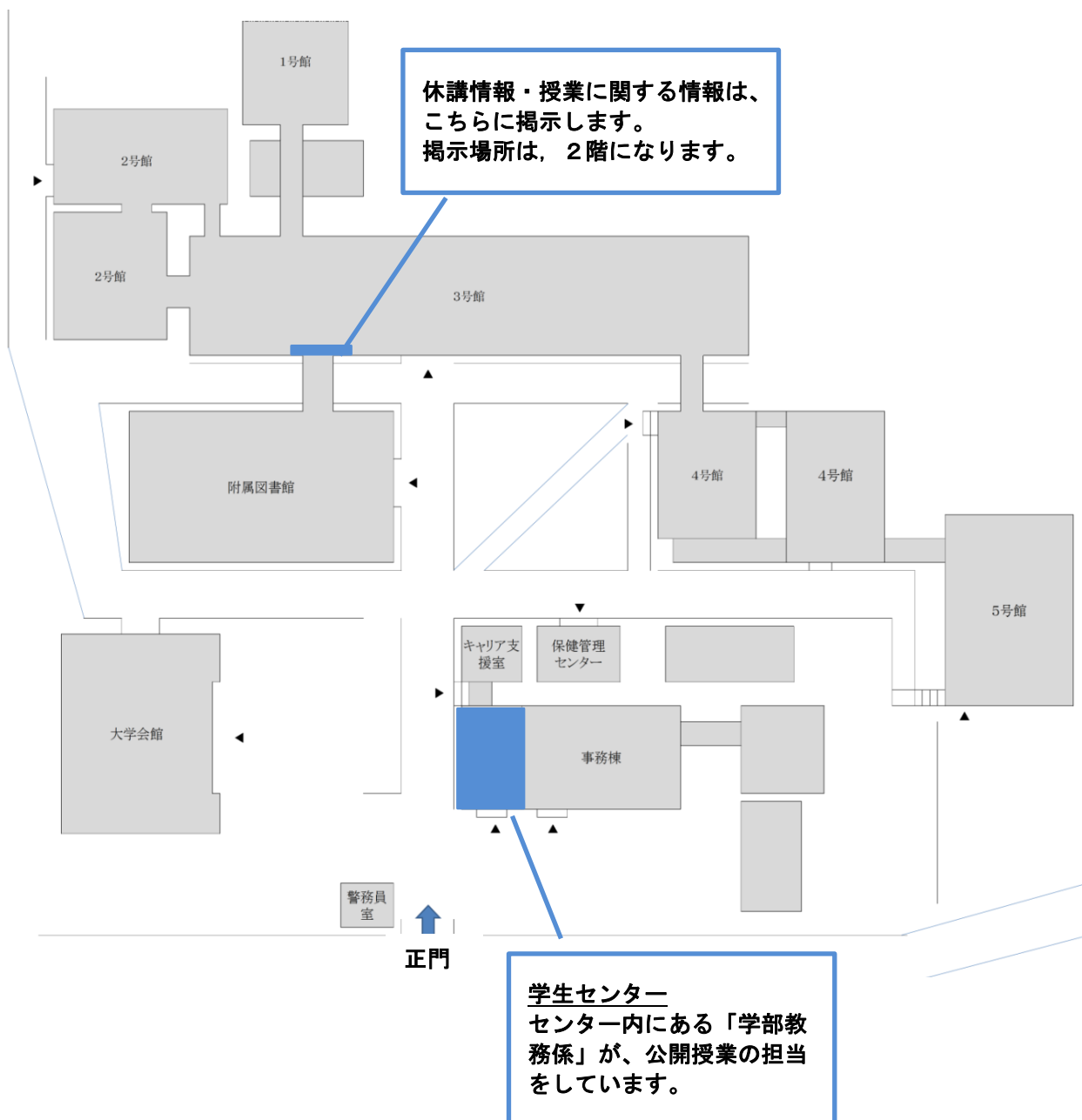
④ 事故・盗難等

学内における事故・盗難等について、大学側では責任を負いかねますので十分気をつけて下さい。

⑤ 損害賠償

受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、その損害を賠償しなければならないことがあります。

学内案内図（受付場所） 事務棟

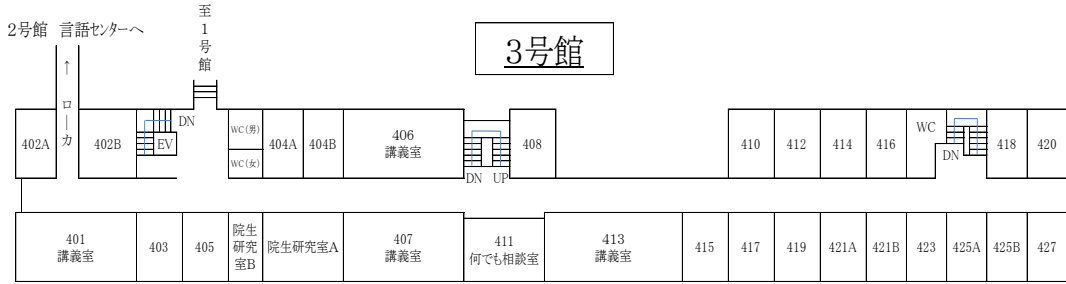


【小樽駅から小樽商科大学まで】

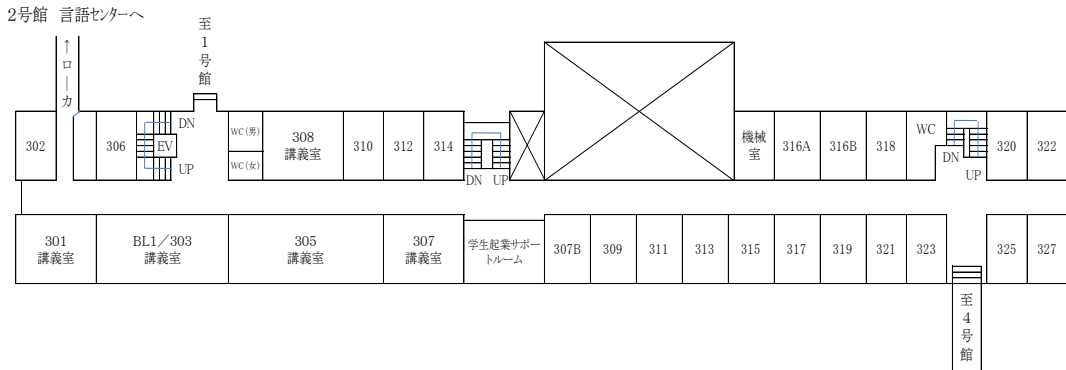
- ◇小樽駅前 JR バスターミナル乗り場 3 番より「小樽商大線(中央バス)」に乗り、「小樽商大前」下車(この間約 10 分)。料金は片道 220 円。
- ◇小樽駅前からタクシーで約 5 分。料金は約 800 円。
- ◇小樽駅前から徒歩で約 30 分。



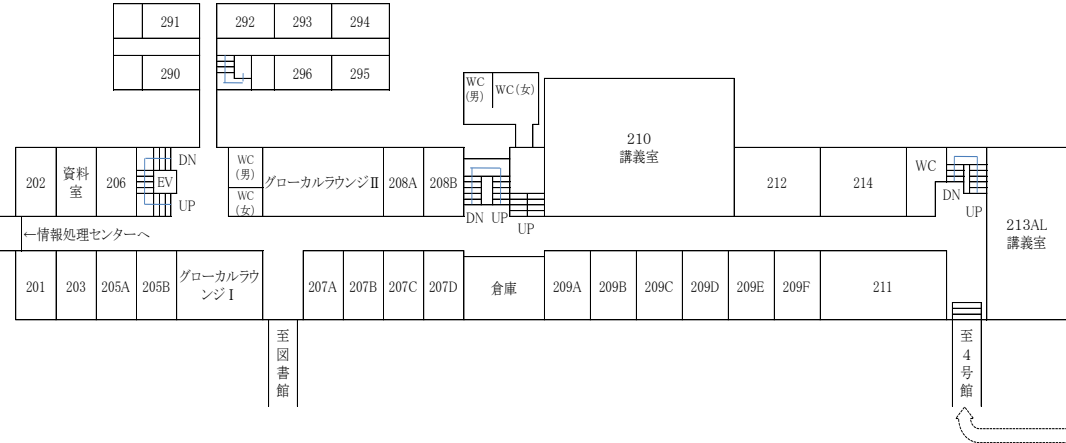
学内案内図（教室） 3号館



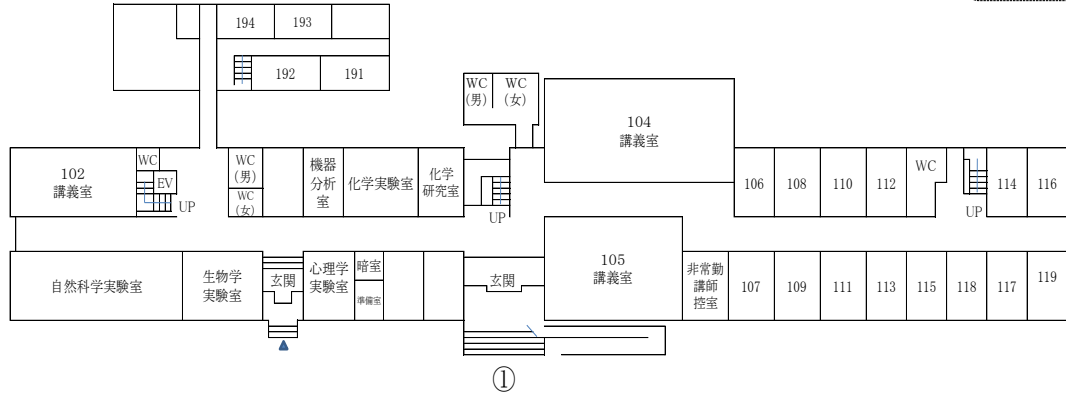
4階



3階

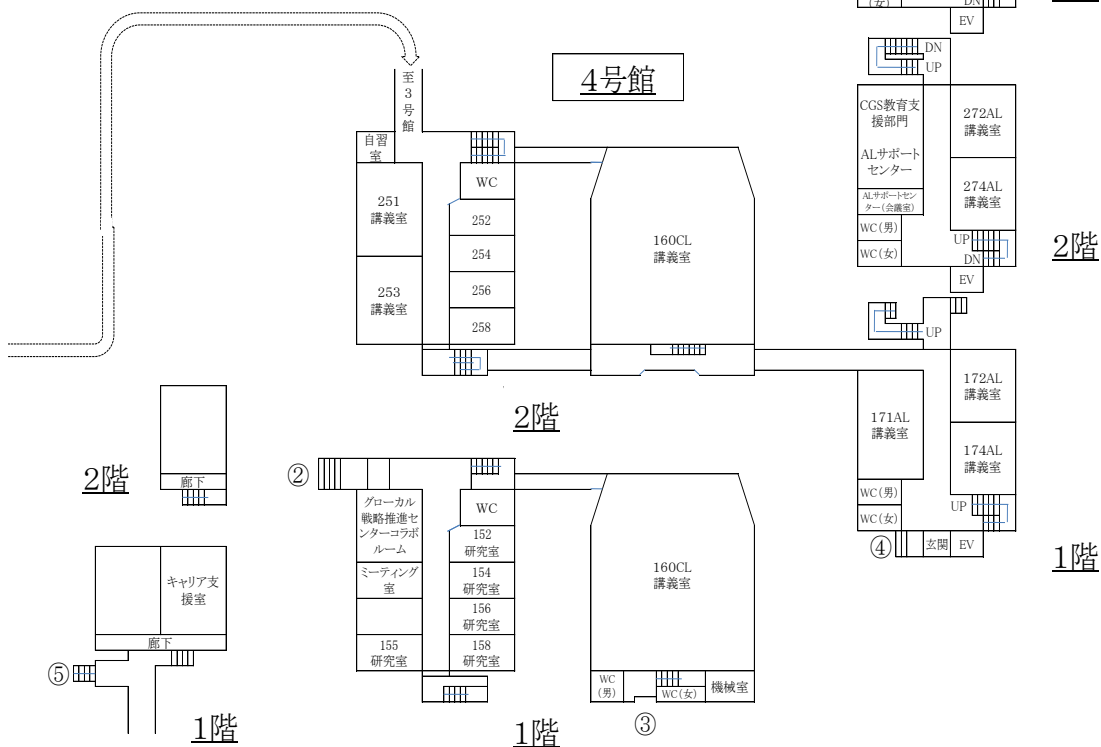
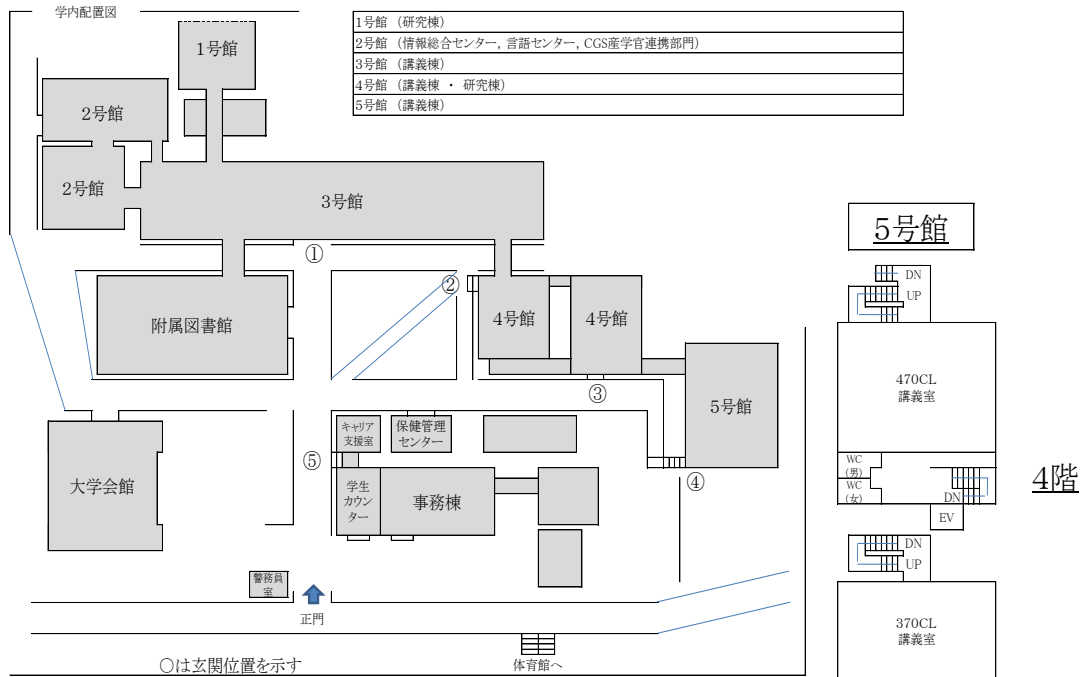


2階



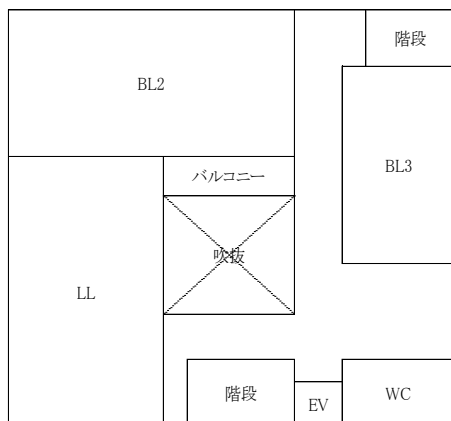
1階

学内案内図（配置図及び教室）



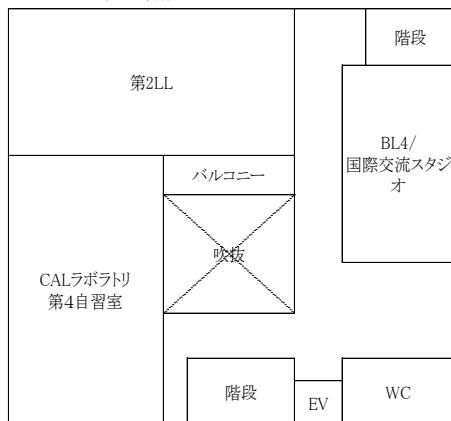
学内案内図（教室） 2号館

↓5F 言語センター

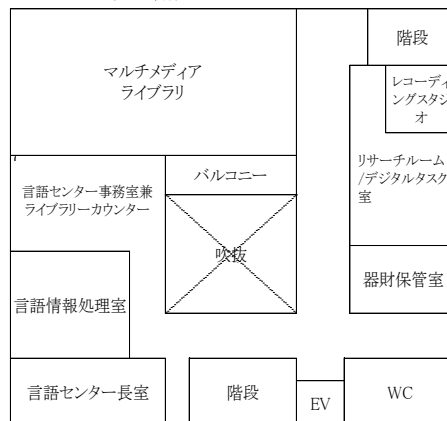


- ・BLはBlended learning講義室の略称です。
- ・BL1/303は3号館3階にあります。

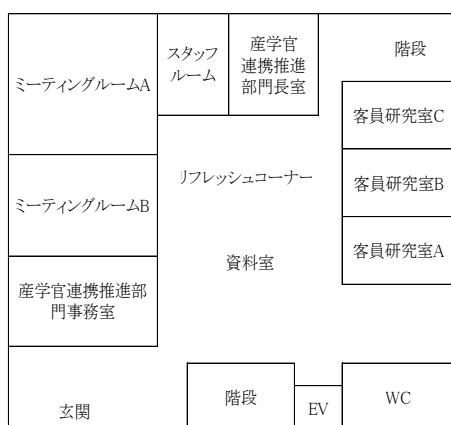
↓3F 言語センター



↓4F 言語センター



↓1F グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門



↓2F 情報総合センター別館

